総合計画等審議会　資料№.２－１
令和８年１月 29 日

総合計画に関する市民アンケート
報告書

令和８年１月

糸 魚 川 市

目　次

I.　調査概要

1. 調査の設計 1
2. 調査の項目 1
3. 回収結果 2
4. 注意事項 2
5. 前回調査との比較 2

II.　回答者属性

1. 性別 3
2. 年齢 3
3. 配偶者の有無 3
4. 18 歳以下のこどもとの同居 3
5. 居住地 4
6. 職業 5
7. 出身地 5
参考 6

III.　調査結果

1. 糸魚川市のイメージ 7
2. 糸魚川市の住みやすさ 9
3. 糸魚川市に住み続けたいか否か 10
4. ジオパークについての認知の程度 11
5. どのようなまちづくりを進めるべきか 12
6. 特に推進してほしい施策 13
7. 分野別の現状満足度・今後の重要度 14
8. どのような場所で暮らしたいか 26
9. 行政サービスと市民の負担のあり方 27
10.行政と市民の役割分担についての考え方 28

IV.　平均スコア

1. 全項目比較 30
2. 分野別満足度・重要度 34
3. 分野別満足度 前回調査との比較 35
4. 分野別重要度 前回調査との比較 36
5. 項目別平均スコア 37
6. ニーズ度による分析 55

Ⅰ. 調査概要

1. 調査の設計

① 調査地域：糸魚川市全域
② 調査対象：糸魚川市在住の１８歳以上の男女
③ 抽出方法：令和６年８月１日現在の住民基本台帳から地域ごとに年齢階層別、男女別の抽出率が等しくなるよう無作為に抽出した（地域ごとの抽出数は人口比で案分した）
④ 調査方法：調査票の配布・回収とも郵送による自記式アンケート
⑤ 調査期間：令和６年８月 15 日(木)～８月 30 日(金)

2. 調査の項目

① 回答者の属性

・性別
・年齢（令和６年８月１日現在）
・配偶者の有無
・18 歳以下のこどもとの同居
・居住地
・職業
・出身地

② 設問分野

(1)糸魚川市のイメージ
(2)糸魚川市の住みやすさ
(3)糸魚川市に住み続けたいか否か
(4)ジオパークについての認知の程度
(5)どのようなまちづくりを進めるべきか
(6)特に推進してほしい施策
(7)分野別の現状満足度・今後の重要度
健康・福祉分野
子育て・教育分野
生活基盤分野
産業分野
生活環境分野
地域づくり・自治分野
(8)どのような場所で暮らしたいか
(9)行政サービスと市民の負担のあり方
(10)行政サービス効率化に向けた意見・評価（自由記述）
(11)行政と市民の役割分担についての考え方
(12)人口減少に対する施策（自由記述）
(13)まちづくりについての意見・提案（自由記述）

3. 回収結果

発送数　　2,000 件
回収数　　744 件
回収率　　37.2 %

4. 注意事項

① 調査結果の数値は、原則として「%」で表した。%値の分母は原則として、その質問に対する回答者数であり、図表では、「N」と表示している。図表に「N」の表示がない場合は、複数回答にて回答者数と総計が一致しないものである。

② 本報告書では、マイナス値についての標記に「ー」を用いている。

③ %値は、小数点以下第２位を四捨五入し、小数点第１位までを表示している。したがって、比率の合計は必ずしも 100%ではない場合（99.9%または 100.1%など）がある。また、「0.0」は±0.05 未満の数値を示している。
また、複数項目においては分母を全体値とし、平均スコアにおいて未回答は計算に含めず分母からも除外した。

④ 図の一部において、構成比の少ない項目はその値を省略している場合がある。

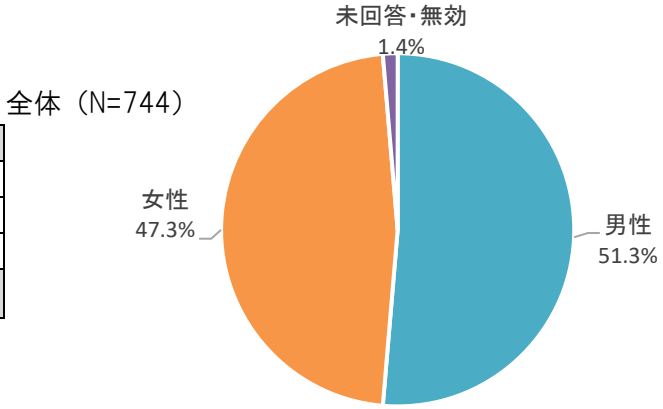
5. 前回調査との比較

① 調査地域　　糸魚川市全域
② 調査対象　　糸魚川市在住の 15 歳以上の男女（令和２年 10 月１日現在）
③ 対象数　　3,000 人
④ 調査方法　　今回同様
⑤ 調査期間　　令和２年 10 月１日（木）～10 月 30 日（金）
⑥ 有効回答数　1,366 件
⑦ 有効回答率　45.5%

II. 回答者属性

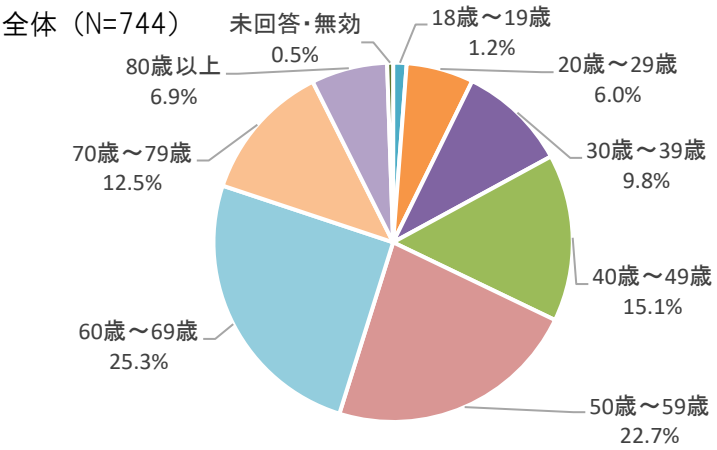
1. 性別

		度数	%
1	男性	382	51.3%
2	女性	352	47.3%
3	未回答・無効	10	1.4%
合計		744	100%



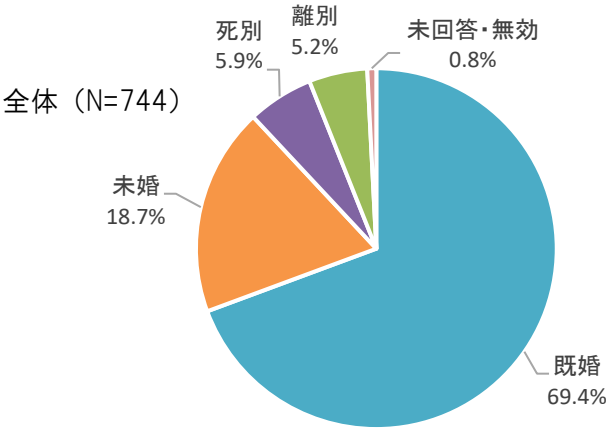
2. 年齢

		度数	%
1	18 歳～19 歳	9	1.2%
2	20 歳～29 歳	45	6.0%
3	30 歳～39 歳	73	9.8%
4	40 歳～49 歳	112	15.1%
5	50 歳～59 歳	169	22.7%
6	60 歳～69 歳	188	25.3%
7	70 歳～79 歳	93	12.5%
8	80 歳以上	51	6.9%
9	未回答・無効	4	0.5%
合計		744	100%



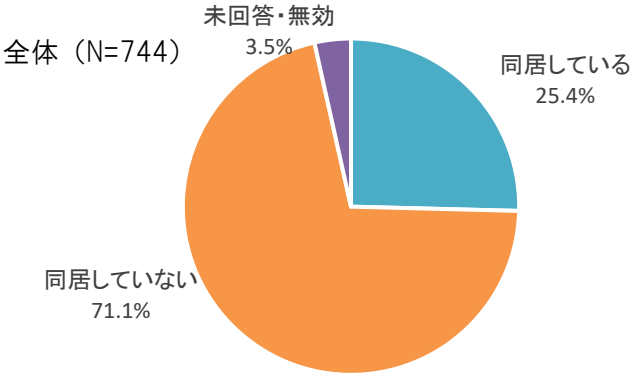
3. 配偶者の有無

		度数	%
1	既婚	516	69.4%
2	未婚	139	18.7%
3	死別	44	5.9%
4	離別	39	5.2%
5	未回答・無効	6	0.8%
合計		744	100%



4. 18 歳以下のこともとの同居

		度数	%
1	同居している	189	25.4%
2	同居していない	529	71.1%
3	未回答・無効	26	3.5%
合計		744	100%

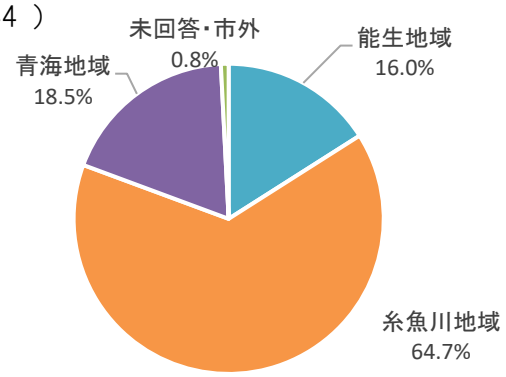


5. 居住地

① 全体

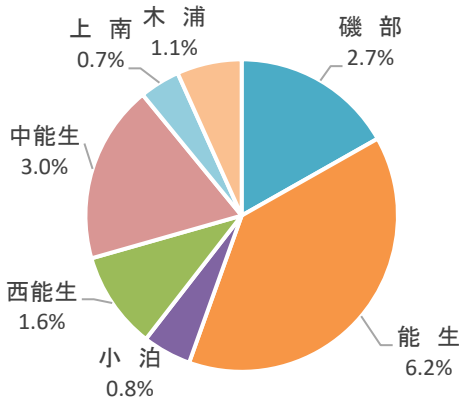
		度数	%
1	能生地域	119	16.0%
2	糸魚川地域	481	64.7%
3	青海地域	138	18.5%
4	未回答･市外	6	0.8%
合計		744	100%

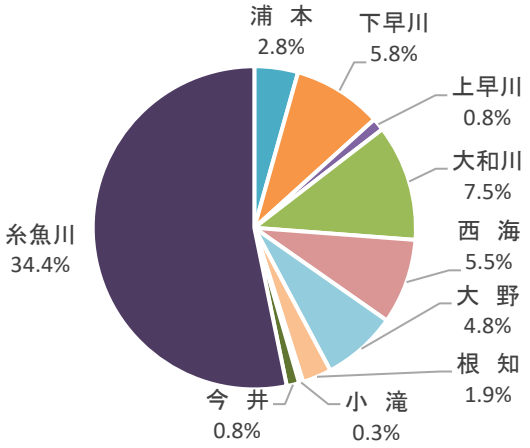
全体（N=744 ）

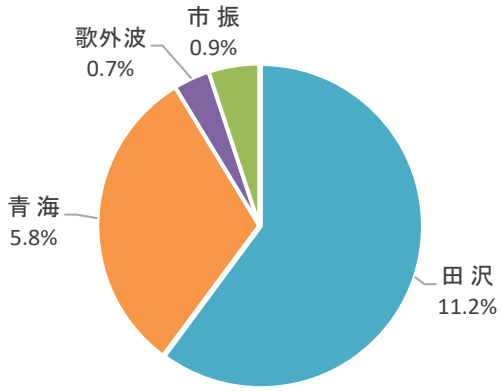


② 地域別

居住地詳細		度数	%
能生地域		119	16.0%
1	磯　部	20	2.7%
2	能　生	46	6.2%
3	小　泊	6	0.8%
4	西能生	12	1.6%
5	中能生	22	3.0%
6	上　南	5	0.7%
7	木　浦	8	1.1%
糸魚川地域		481	64.7%
1	浦　本	21	2.8%
2	下早川	43	5.8%
3	上早川	6	0.8%
4	大和川	56	7.5%
5	西　海	41	5.5%
6	大　野	36	4.8%
7	根　知	14	1.9%
8	小　滝	2	0.3%
9	今　井	6	0.8%
10	糸魚川	256	34.4%
青海地域		138	18.5%
1	田 沢	83	11.2%
2	青 海	43	5.8%
3	歌外波	5	0.7%
4	市 振	7	0.9%
不明		6	0.8%
合計		744	100%



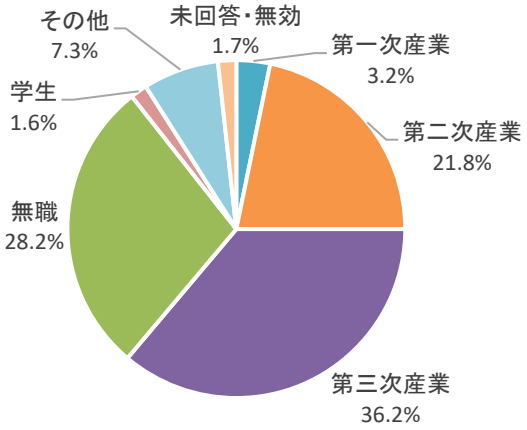




6. 職業

＜N=744＞

		度数	%
1	第一次産業	24	3.2%
2	第二次産業	162	21.8%
3	第三次産業	269	36.2%
4	無職	210	28.2%
5	学生	12	1.6%
6	その他	54	7.3%
7	未回答･無効	13	1.7%
合計		744	100%

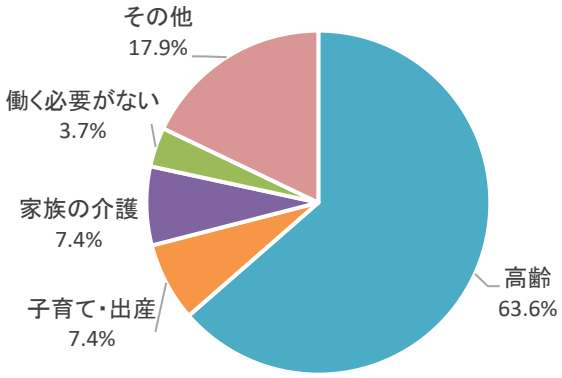


「４　無職」内訳

＜N=162＞

		度数	%
(1)	高齢	103	63.6%
(2)	子育て・出産	12	7.4%
(3)	家族の介護	12	7.4%
(4)	働く必要がない	6	3.7%
(5)	その他	29	17.9%
合計		162	100%

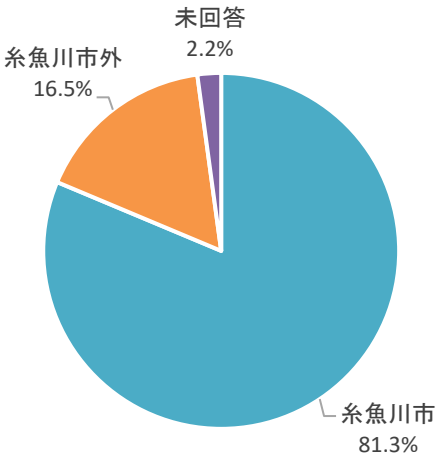
※内訳未回答＝48



7. 出身地

＜N=744＞

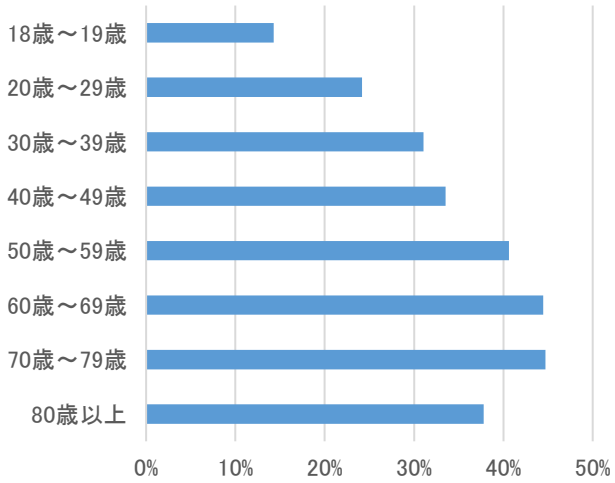
		度数	%
1	糸魚川市	605	81.3%
2	糸魚川市外	123	16.5%
3	未回答	16	2.2%
合計		744	100%



参考

年齢別回答割合

		発送数	回答数	回答率
1	18 歳～19 歳	63	9	14.3%
2	20 歳～29 歳	186	45	24.2%
3	30 歳～39 歳	235	73	31.1%
4	40 歳～49 歳	334	112	33.5%
5	50 歳～59 歳	416	169	40.6%
6	60 歳～69 歳	423	188	44.4%
7	70 歳～79 歳	208	93	44.7%
8	80 歳以上	135	51	37.8%
9	未回答･無効		4	
合計		2,000	744	37.2%

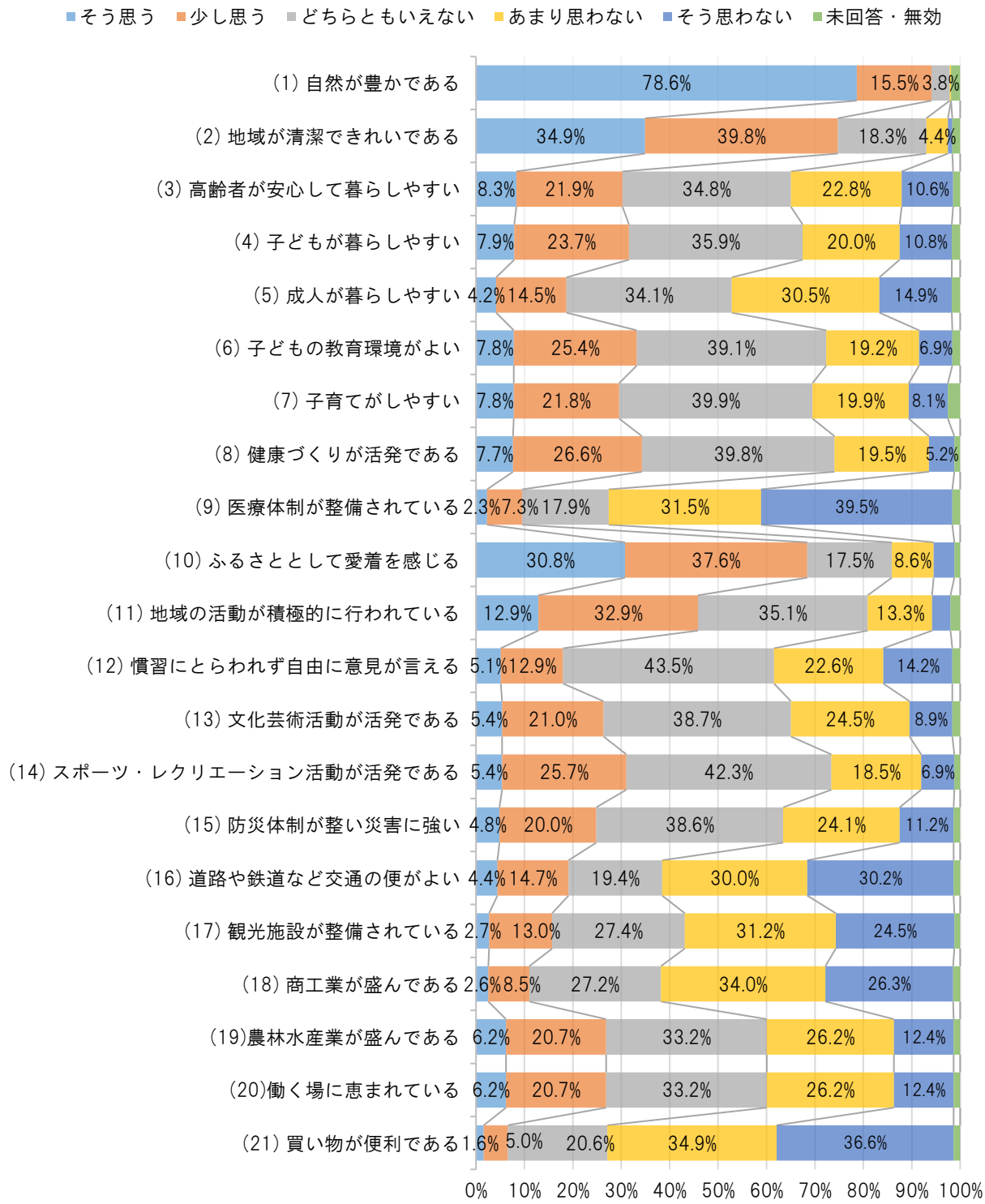


III. 調査結果

◆調査結果

1. 糸魚川市のイメージ

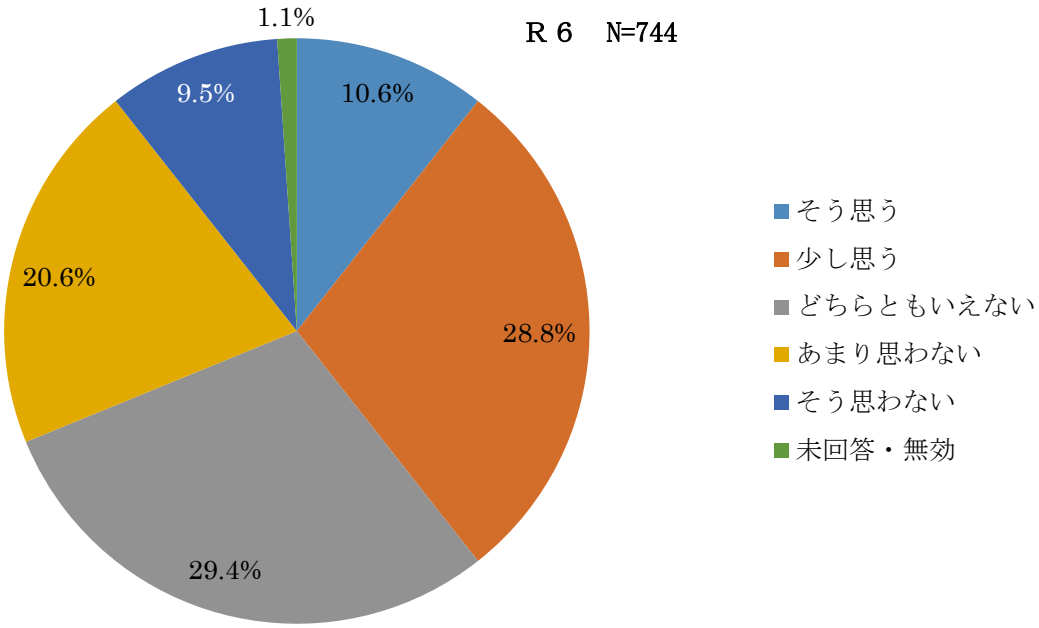
問１　あなたは、糸魚川市に関する次の項目について
どのように感じていますか。



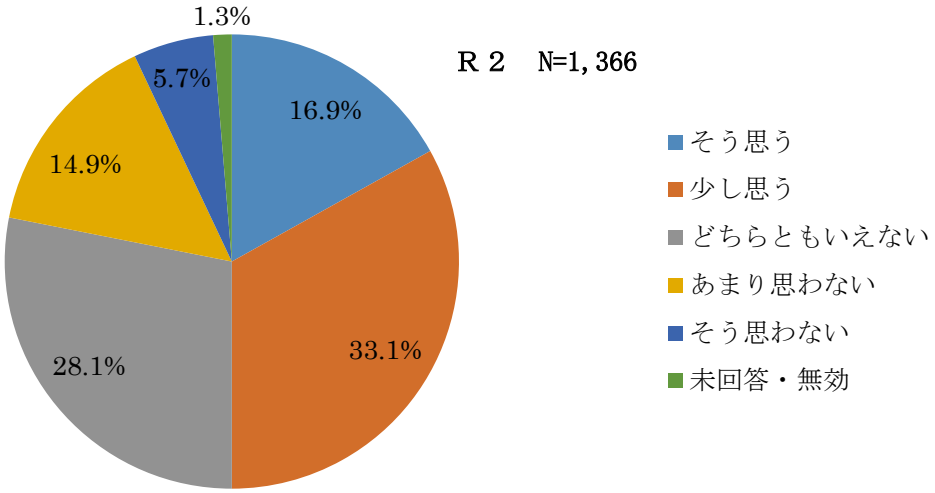
- 『(1) 自然が豊かである』、『(2) 地域が清潔できれいである』、『(10) ふるさととして愛着を感じる』について「そう思う」、「少し思う」との回答した人の割合が高かった。
- 『(9)医療体制が整備されている』、『(16)道路や鉄道などの交通の便が良い』、『(17)観光施設が整備されている』、『(18) 商工業が盛んである』、『(21) 買い物が便利である』について「そう思わない」、「あまり思わない」と回答した人の割合が５割を超え、高くなっている。
- それ以外の項目については、「そう思う」と「少し思う」と回答した人と、「あまり思わない」、「そう思わない」と回答した人の割合が、それぞれ概ね 30%ほどであった。

2. 糸魚川市の住みやすさ

問２　糸魚川市は住みやすいまちだと思いますか。

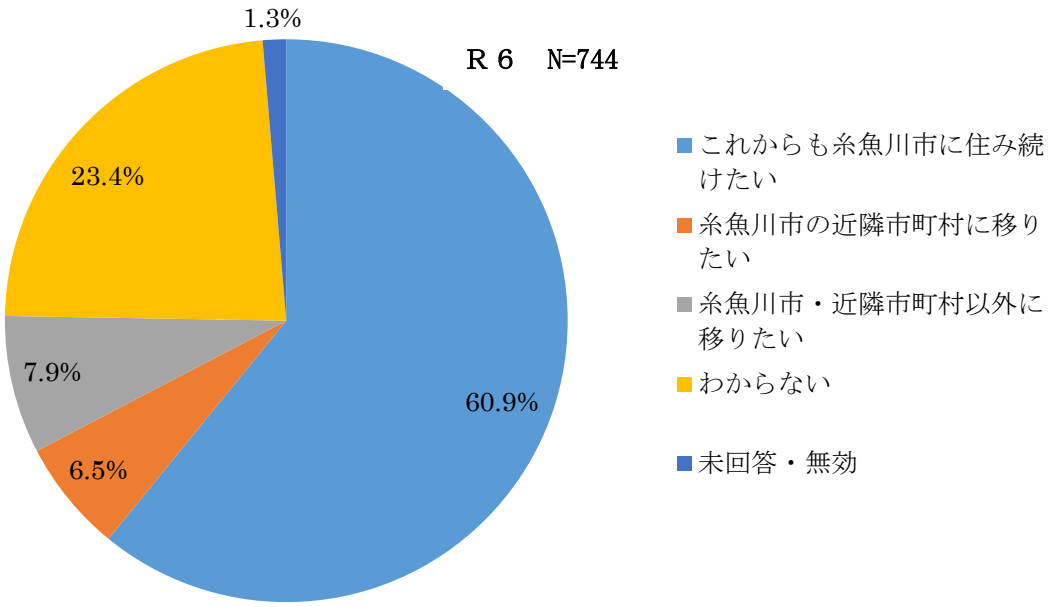


- 「そう思う」と「少し思う」と回答した人を合わせて、39.4%の人が住みやすいと回答した。
- 「そう思わない」と「あまり思わない」と回答した人は、合わせて 30.1%であった。

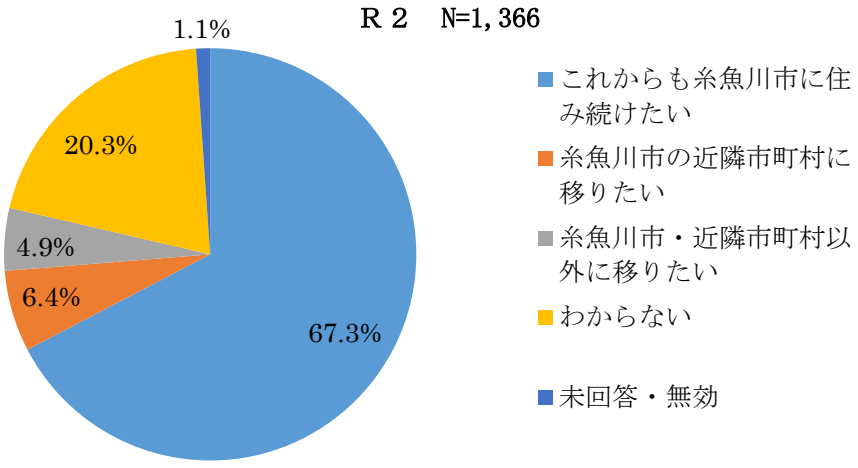


3. 糸魚川市に住み続けたいか否か

問３　これからも糸魚川市に住み続けたいと思いますか。

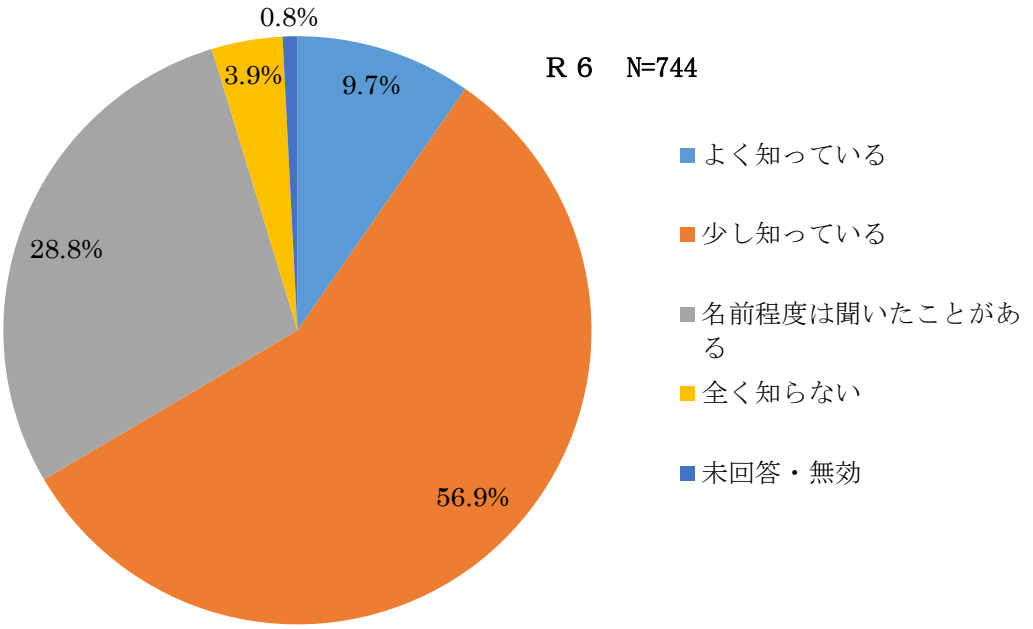


- 「これからも糸魚川市に住み続けたい」と回答した人の割合は 60.9%であった。
- 「近隣市町村に移りたい」、「近隣市町村以外に移りたい」と回答した人の割合は、合わせて 14.4%であった。
- 「わからない」と回答した人の割合が 23.4%となっており、住み続けるか移住するかが明確になっていない人も一定の割合でいた。

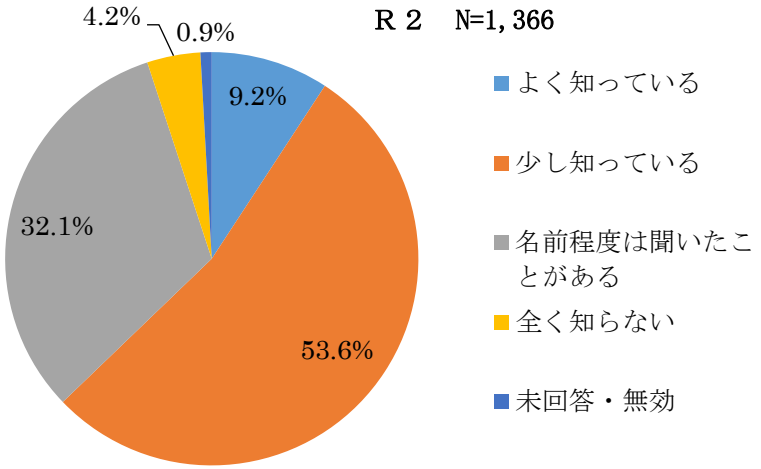


4. ジオパークについての認知の程度

問４　ジオパークについて、どの程度知っていますか。

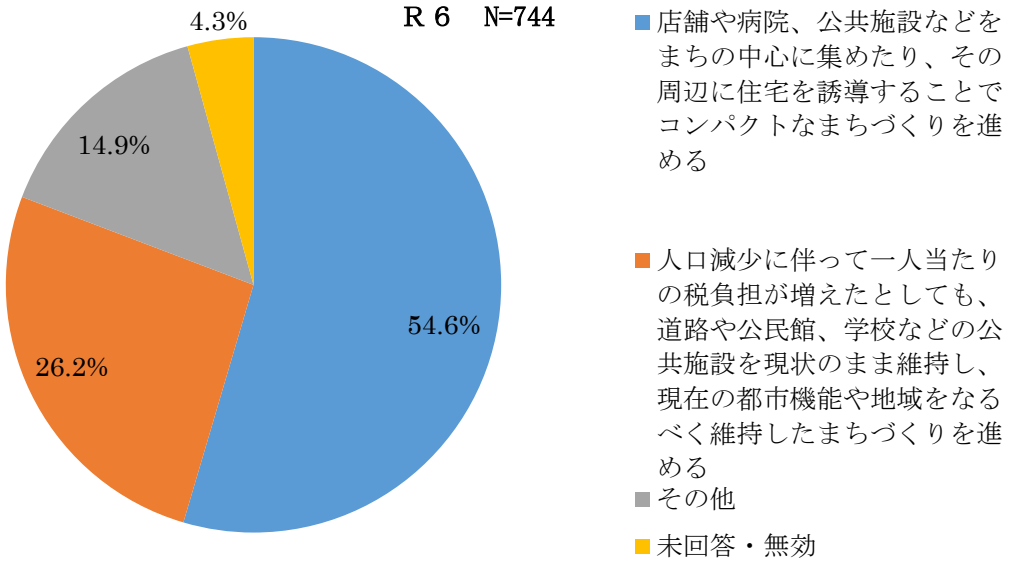


- 「よく知っている」、「少し知っている」と回答した人の割合は、合わせて 66.6%であった。
- 「名前程度は聞いたことがある」、「全く知らない」と回答した人の割合は、合わせて 32.7%であった。



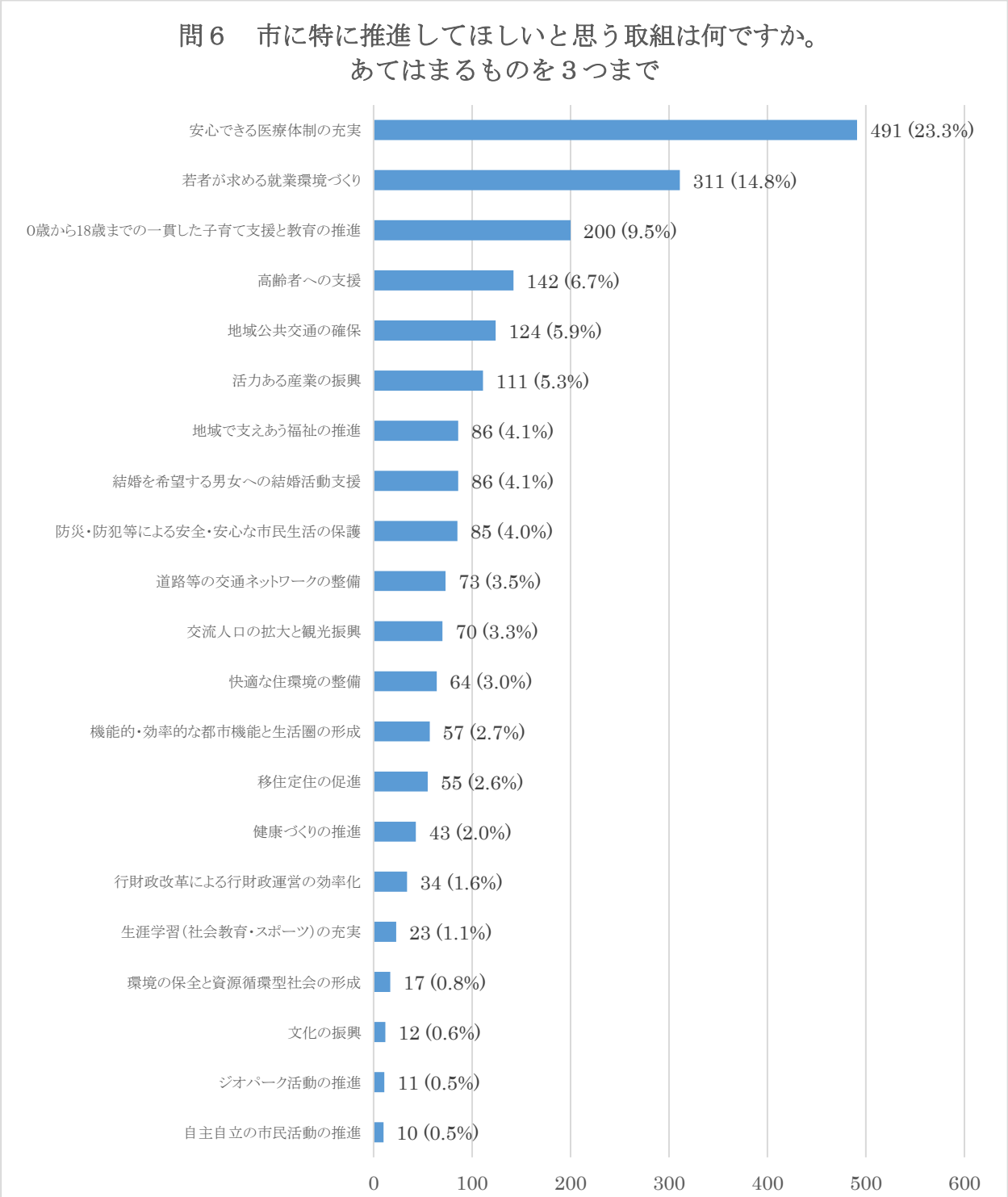
5. どのようなまちづくりを進めるべきか

問５　どのようなまちづくりを進めるべきか



- 「店舗や病院、公共施設などをまちの中心に集めたり、その周辺に住宅を誘導することでコンパクトなまちづくりを進める」と回答した人の割合は、54.6%であった。
- 「人口減少に伴って一人当たりの税負担が増えたとしても、道路や公民館、学校などの公共施設を現状のまま維持し、現在の都市機能や地域をなるべく維持したまちづくりを進める」と回答した人の割合は、26.2%であった。
- 「その他」と回答した人の割合は、14.9%であった。

6. 特に推進してほしい施策

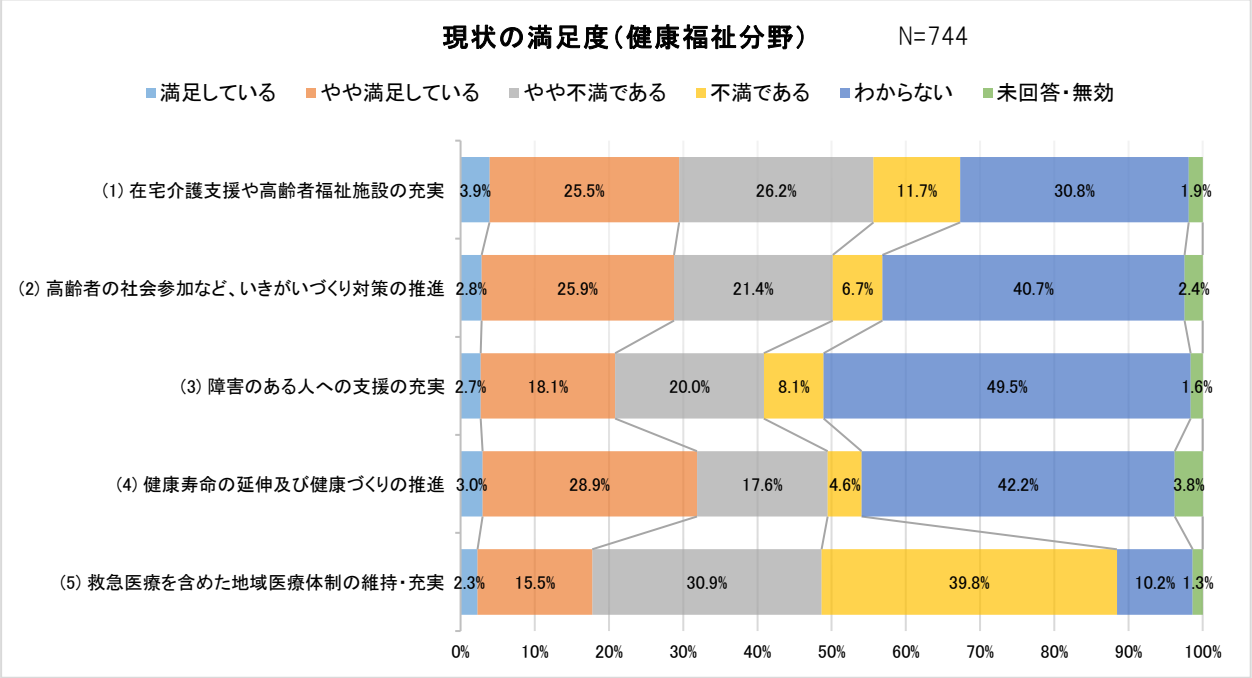


- 回答が多い順に整理した。
- 回答者数 744 人のうち、「安心できる医療体制の充実」が最も多く、491 人（23.3%）が特に推進してほしいと回答した。次いで、「若者が求める就業環境づくり」が 311 人（14.8%）、「０歳から 18 歳までの一貫した子育て支援と教育の推進」が 200 人（9.5%）、「高齢者への支援」が 142 人（6.7%）、「地域公共交通の確保」が 124 人（5.9%）であった。

7. 分野別の現状満足度・今後の重要度

① 健康福祉分野

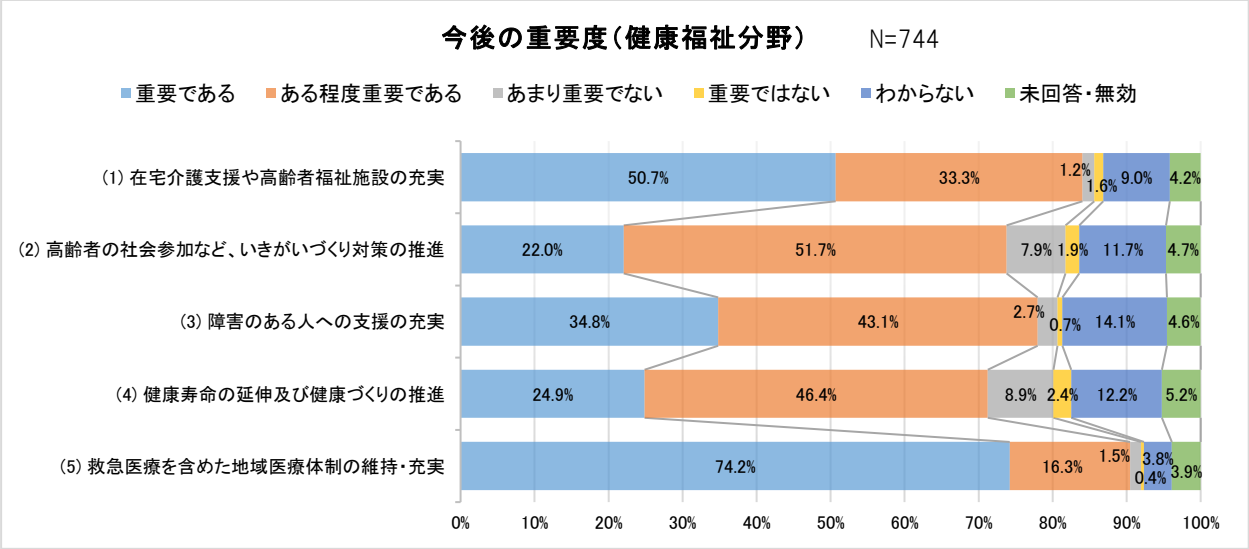
(1) 現状の満足度



- 『(5)救急医療を含めた地域医療体制の維持・充実』は、「不満である」、「やや不満である」が 70%を超え、不満を持っている人の割合が高かった。
- 不満を持つ人が多い項目は、(5)に次いで、『(1)在宅介護支援や高齢者福祉施設の充実』であった。

① 健康福祉分野

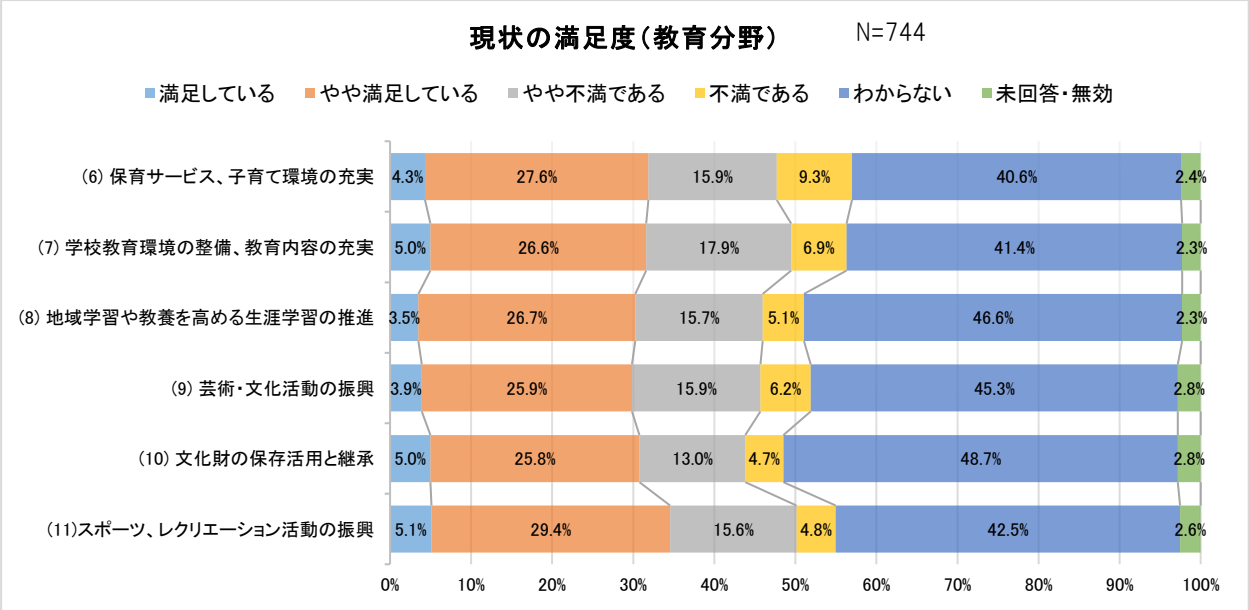
(2) 今後の重要度



- 全ての項目で、「重要である」または「ある程度重要である」と回答した人の割合が 70%を超え、いずれも重要であると考えられていることがうかがわれた。
- とくに『(5)救急医療を含めた地域医療体制の維持・充実』は、「重要である」または「ある程度重要である」と回答した人の割合が 90.5%に上り、施策が注目されている。
- そのほか『(1)在宅介護支援や高齢者福祉施設の充実』も、「重要である」または「ある程度重要である」と回答した人の割合が 84.0%に上った。

② 教育分野

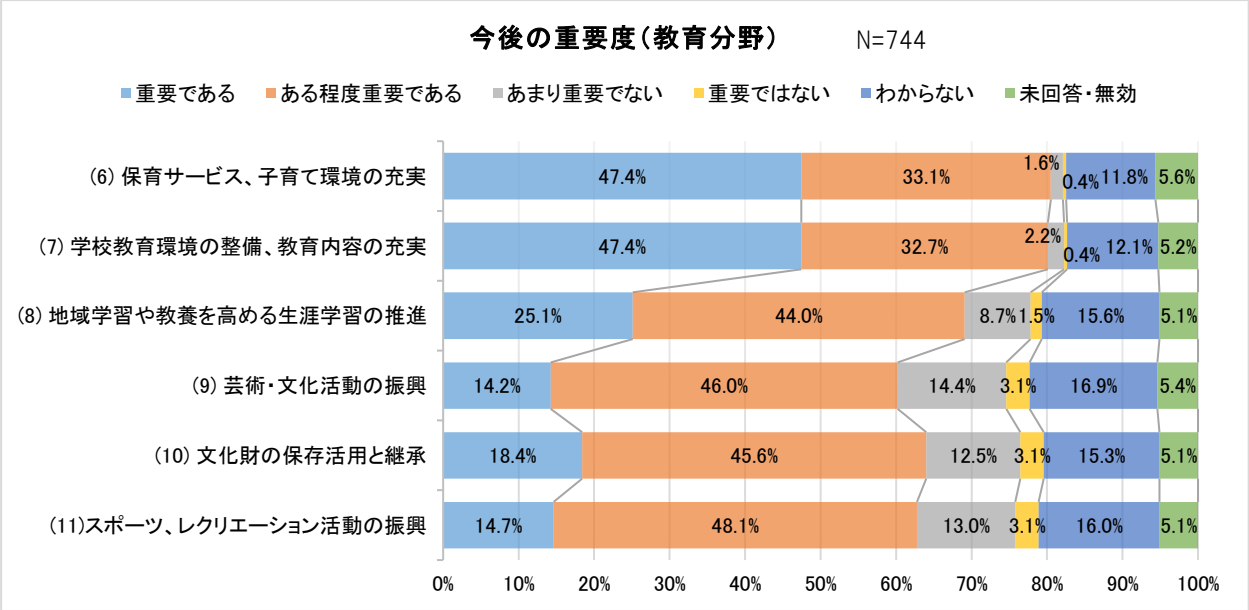
(1) 現状の満足度



- ほとんどの項目について、「満足している」または「やや満足している」と回答した人の割合がおよそ 30～35%いた。一方で、「不満である」または「やや不満である」と回答した人の割合はおよそ 15～25%ほどであった。

② 教育分野

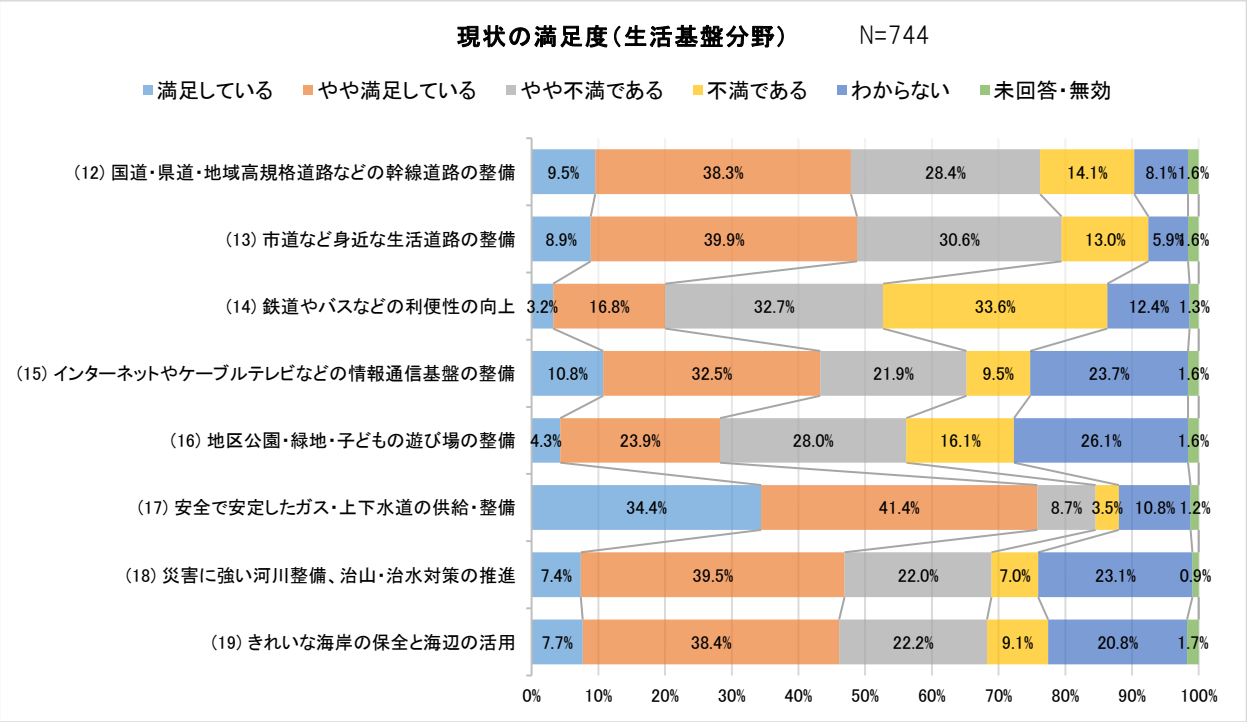
(2) 今後の重要度



- 『(6)保育サービス、子育て環境の充実』、『(7)学校教育環境の整備、教育内容の充実』について「重要である」または「ある程度重要である」と回答した人の割合がおよそ 80%を占める結果となっている。また、「重要である」と回答した人の割合が 47.4%であり、重要であると考えている人が特に多かった。

③ 生活基盤分野

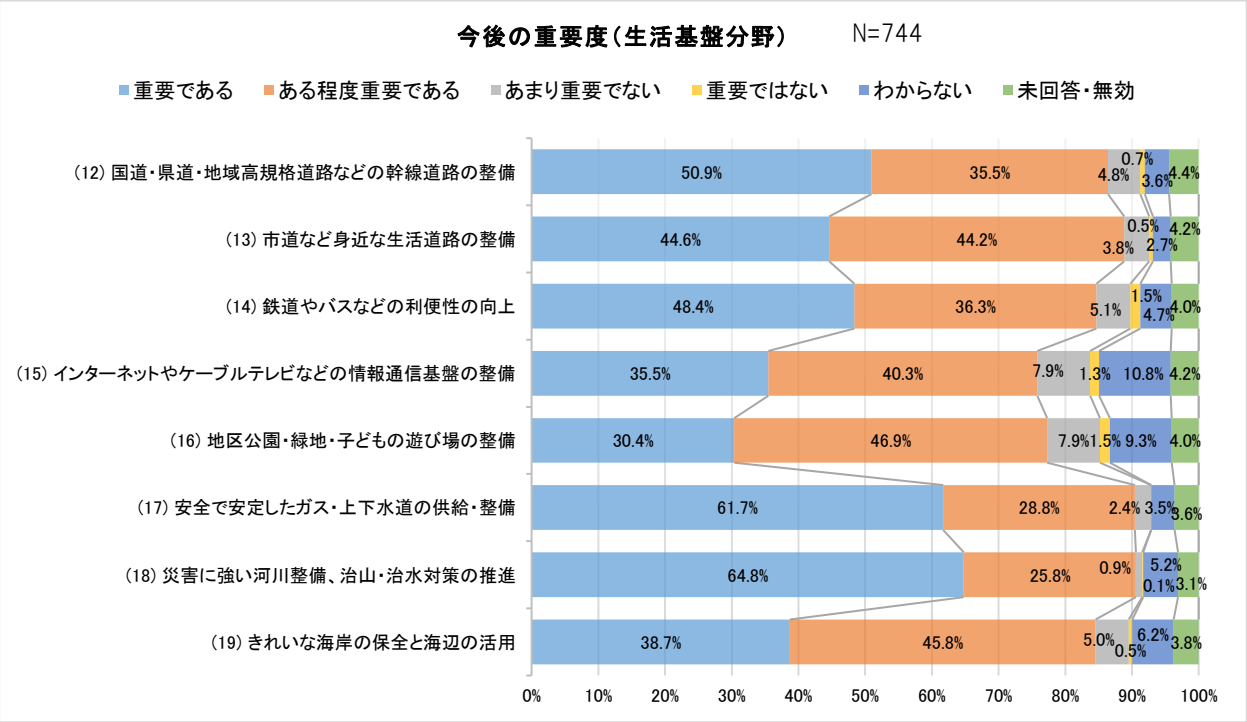
(1) 現状の満足度



- 『(14)鉄道やバスなどの利便性の向上』については、「不満である」または「やや不満である」と回答した人の割合がおよそ 66%と高く、不満を持っている人が多かった。
- 『(17)安全で安定したガス・上下水道の供給・整備』については、「満足している」または「やや満足している」と回答した人の割合がおよそ 76%と高く、満足している人が多かった。

③ 生活基盤分野

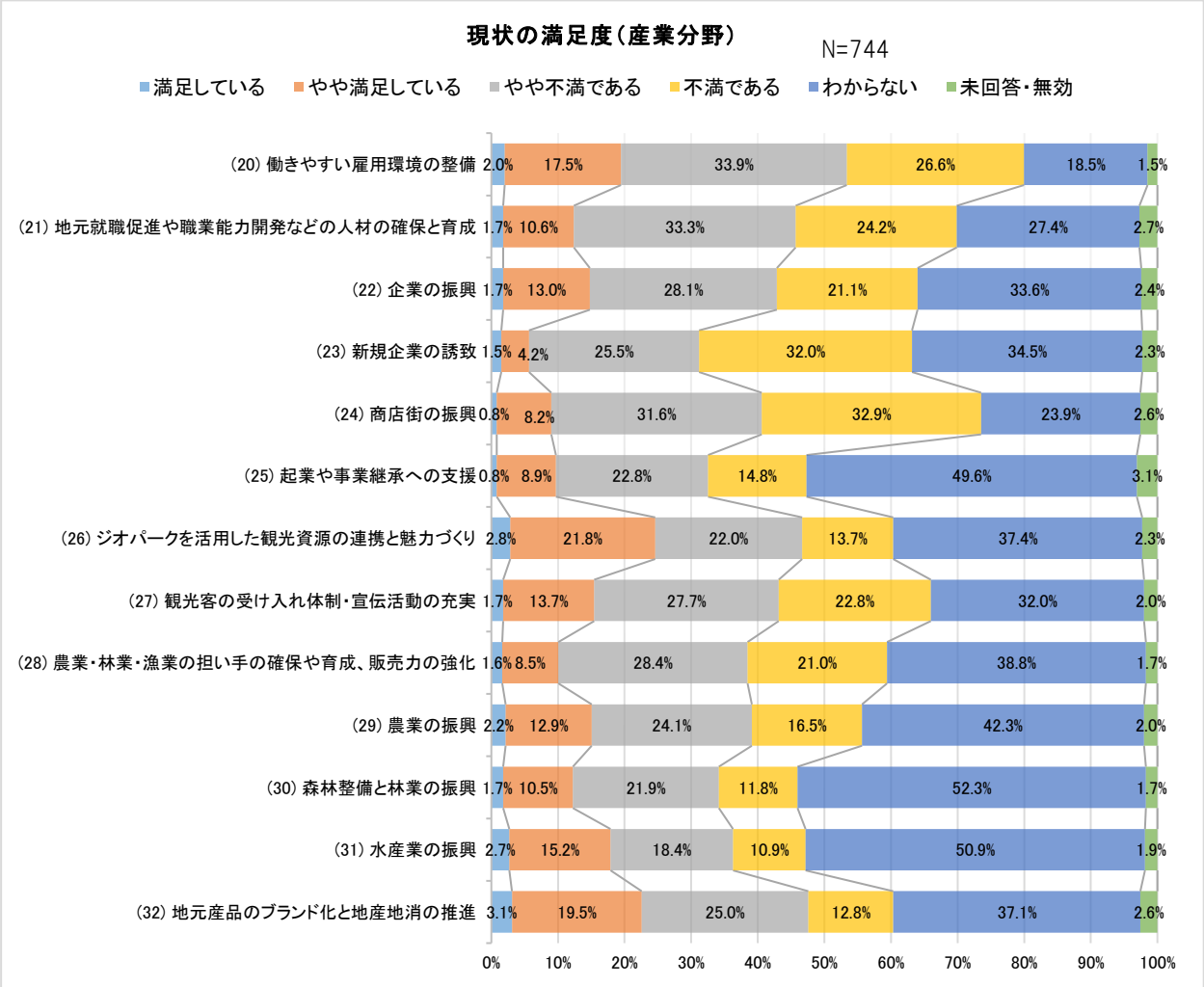
(2) 今後の重要度



- 『(17)安全で安定したガス・上下水道の供給・整備』、『(18)災害に強い河川整備、治山・治水対策の推進』については、「重要である」または「ある程度重要である」と回答した人の割合がおよそ 90%を占める結果となっている。また、「重要である」と回答した人の割合がおよそ 62～65%と高く、重要であると考える人が特に多かった。
- そのほか、『(12)国道・県道・地域高規格道路などの幹線道路の整備』、『(13)市道など身近な生活道路の整備』、『(14)鉄道やバスなどの利便性の向上』、『(19)きれいな海岸の保全と海辺の活用』についても、「重要である」、「ある程度重要である」と回答した人の割合がおよそ 85%と高く、重要であると考える人が多かった。

④ 産業分野

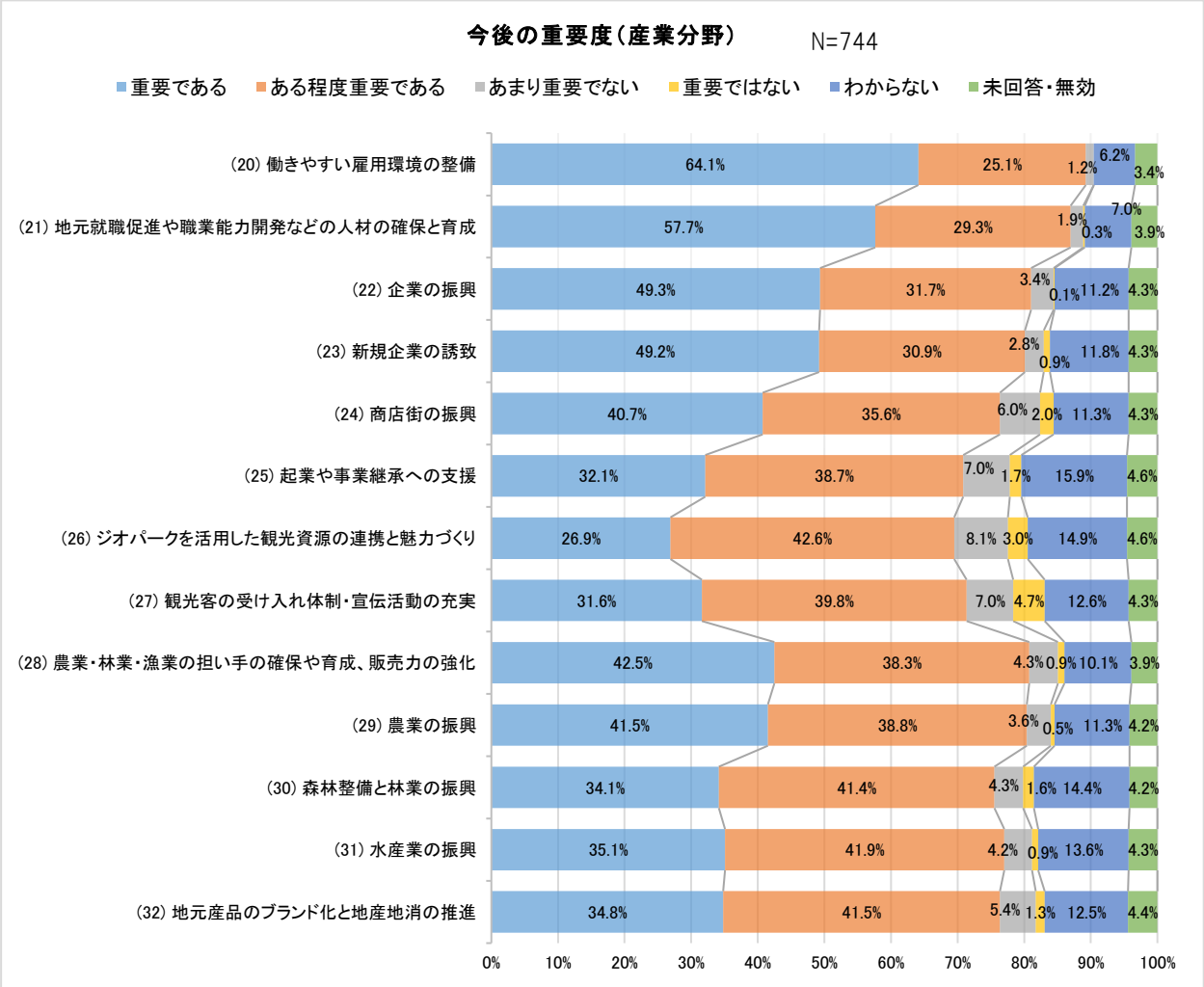
(1) 現状の満足度



- 多くの項目について、「わからない」と回答した人の割合がおよそ 30～50%と高かった。
- 全ての項目で、『満足している』と回答した人の割合が少なかった。
- 『(20)働きやすい雇用環境の整備』、『(21)地元就職促進や職業能力開発などの人材の確保と育成』、『(23)新規企業の誘致』、『(24)商店街の振興』、『(27)観光客の受け入れ体制・宣伝活動の充実』については、「不満である」または「やや不満である」と回答した人の割合が 50%を超え、不満を持っている人が多かった。
- 産業分野の中では、『(26)ジオパークを活用した観光資源の連携と魅力づくり』、『(32) 地元産品のブランド化と地産地消の推進』について、「満足している」または「やや満足している」と回答した人の割合が 20%を超え、満足している人が比較的に多かった。

④ 産業分野

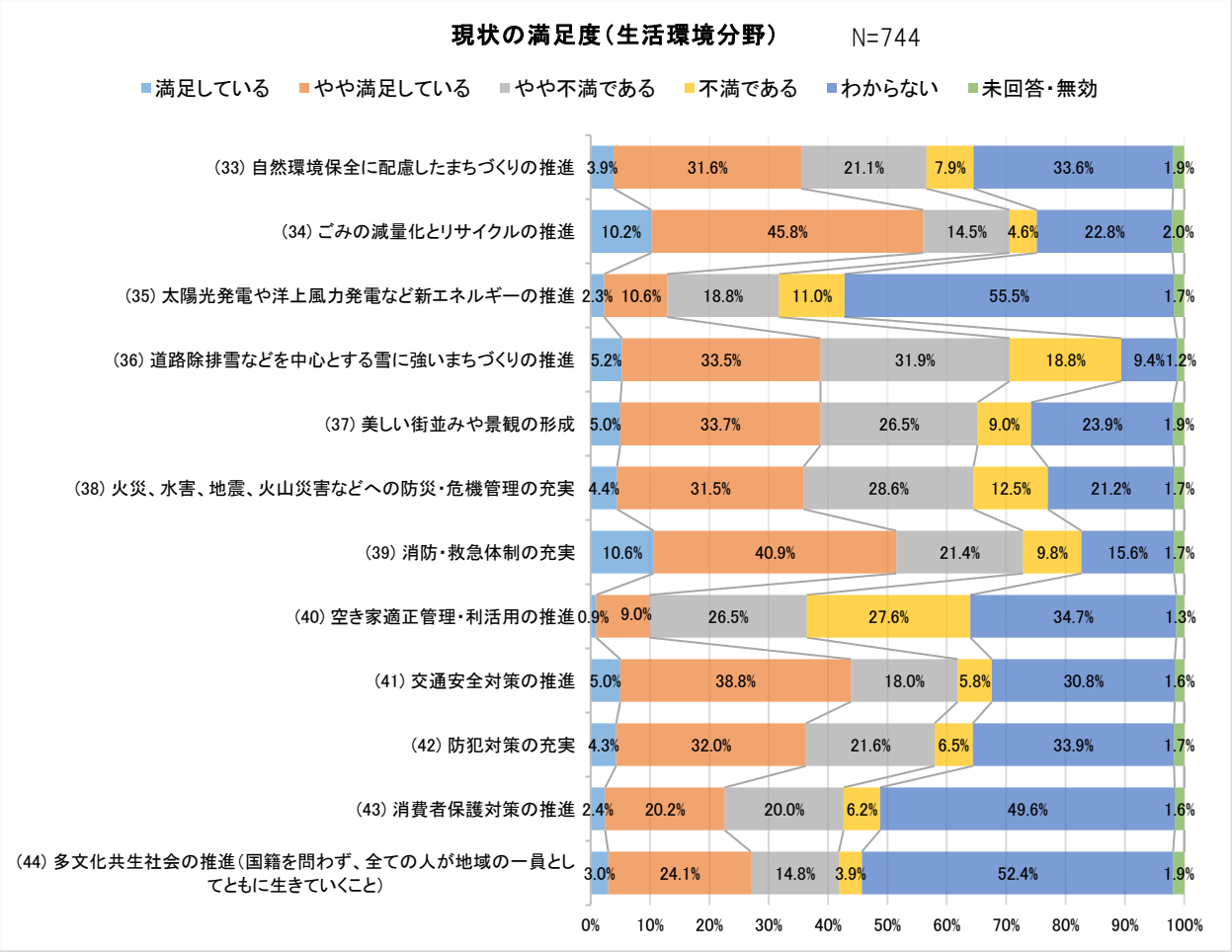
(2) 今後の重要度



- 『(20)働きやすい雇用環境の整備』、『(21)地元就職促進や職業能力開発などの人材の確保と育成』は「重要である」または「ある程度重要である」と回答した人の割合がおよそ 90%を占める結果となっている。また、『(20)働きやすい雇用環境の整備』については、「重要である」と回答した人の割合が 64.1%と高く、重要であると考える人が特に多かった。
- そのほか、全ての設問においても「重要である」、「ある程度重要である」と回答した人の割合が約 70%を超え、重要だと考える人が多かった。

⑤ 生活環境分野

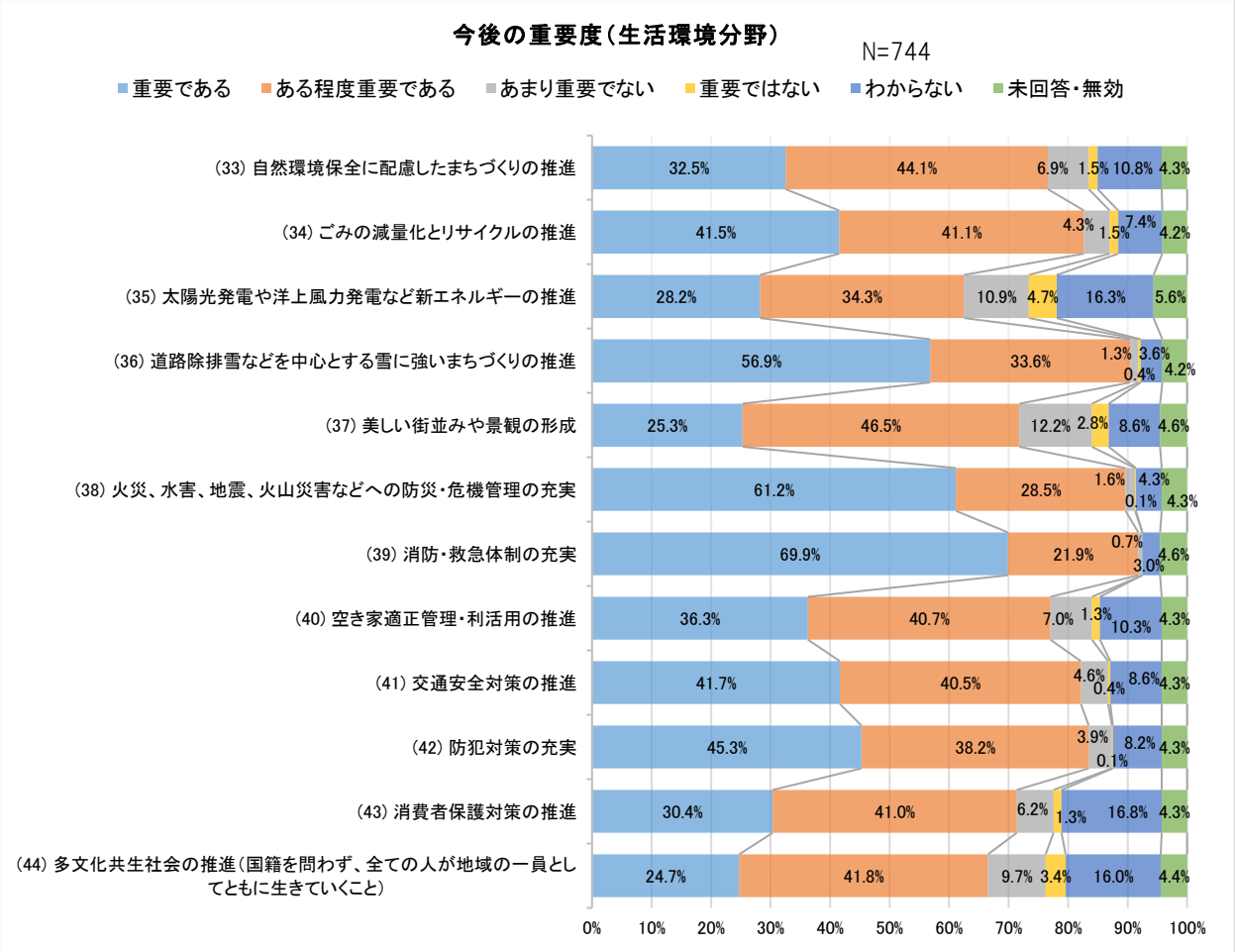
(1) 現状の満足度



- 『(36)道路除排雪などを中心とする雪に強いまちづくりの推進』、『(40)空き家適正管理・利活用の推進』については、「不満である」または「やや不満である」と回答した人の割合がおよそ 50%と高く、不満を持っている人が多かった。
  一方で、『(36)道路除排雪などを中心とする雪に強いまちづくりの推進』は、「満足している」または「やや満足している」と回答した人の割合も 38.7%と一定数いる。
- 『(34) ごみの減量化とリサイクルの推進』、『(39)消防・救急体制の充実』については、「満足している」または「やや満足している」と回答した人の割合がおよそ 50～55%と高く、満足している人が比較的多かった。
- 『(35)太陽光発電や洋上風力発電など新エネルギーの推進』及び『(44)多文化共生社会の推進(国籍を問わず、全ての人が地域の一員としてともに生きていくこと)』については、「わからない」と回答した人の割合が 50%以上と多かった。

⑤ 生活環境分野

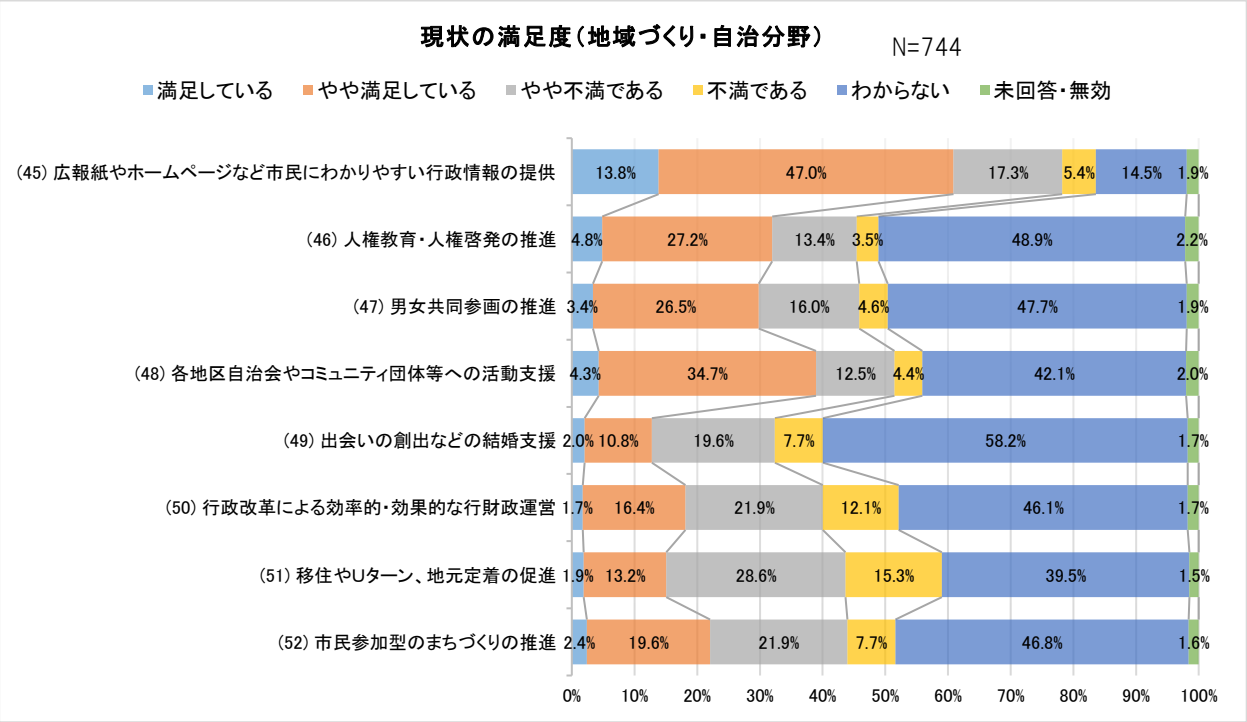
(2) 今後の重要度



- 『(38)火災、水害、地震、火山災害などへの防災・危機管理の充実』、『(39)消防・救急体制の充実』については、「重要である」または「ある程度重要である」と回答した人の割合がおよそ 90%を占める結果となっている。また、『(38)火災、水害、地震、火山災害などへの防災・危機管理の充実』、『(39)消防・救急体制の充実』については、「重要である」と回答した人の割合がおよそ 60～70%と高く、重要であると考える人が特に多かった。
- そのほか、『(34)ごみの減量化とリサイクルの推進』、『(36)道路除排雪などを中心とする雪に強いまちづくりの推進』、『(41)交通安全対策の推進』、『(42)防犯対策の充実』についても、「重要である」または「ある程度重要である」と回答した人の割合が 80%を超え、重要であると考える人が多かった。

⑥ 地域づくり・自治分野

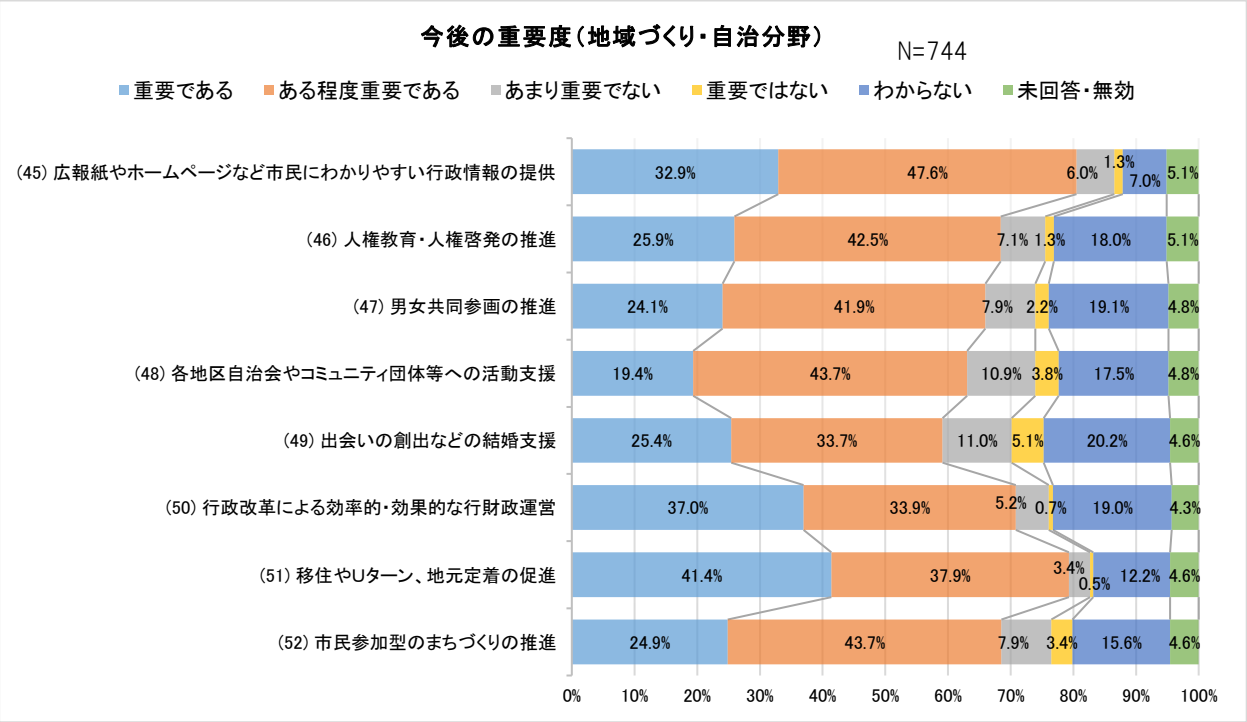
(1) 現状の満足度



- 多くの項目について、「わからない」と回答した人の割合がおよそ 40～60%と高かった。
- 『(51)移住やUターン、地元定着の促進』については、「不満である」または「やや不満である」と回答した人の割合がおよそ 44%と高く、不満を持っている人が多かった。
- 『(45)広報紙やホームページなど市民にわかりやすい行政情報の提供』については、「満足している」または「やや満足している」と回答した人の割合がおよそ 60%と高く、満足している人が多かった。

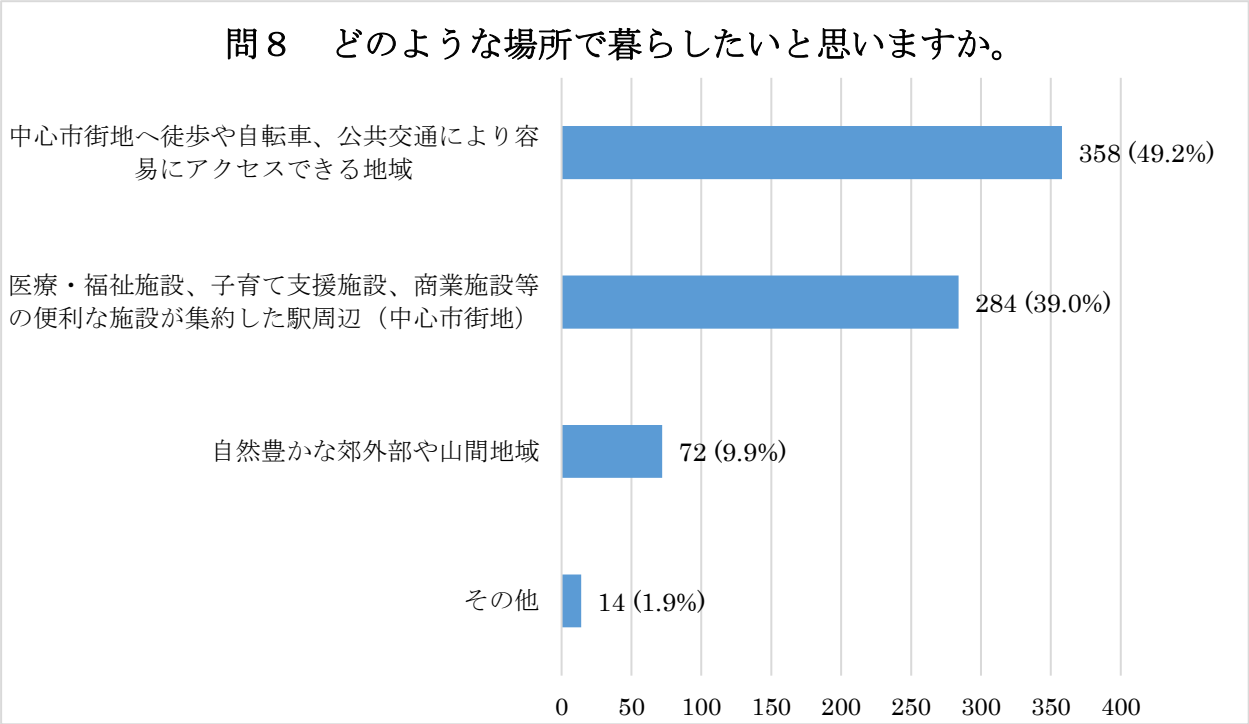
⑥ 地域づくり・自治分野

(2) 今後の重要度



- 『(45) 広報紙やホームページなど市民にわかりやすい行政情報の提供』、『(51)移住やUターン、地元定着の促進』については、「重要である」または「ある程度重要である」と回答した人の割合がおよそ 80%と高く、重要であると考える人が多かった。

8. どのような場所で暮らしたいか

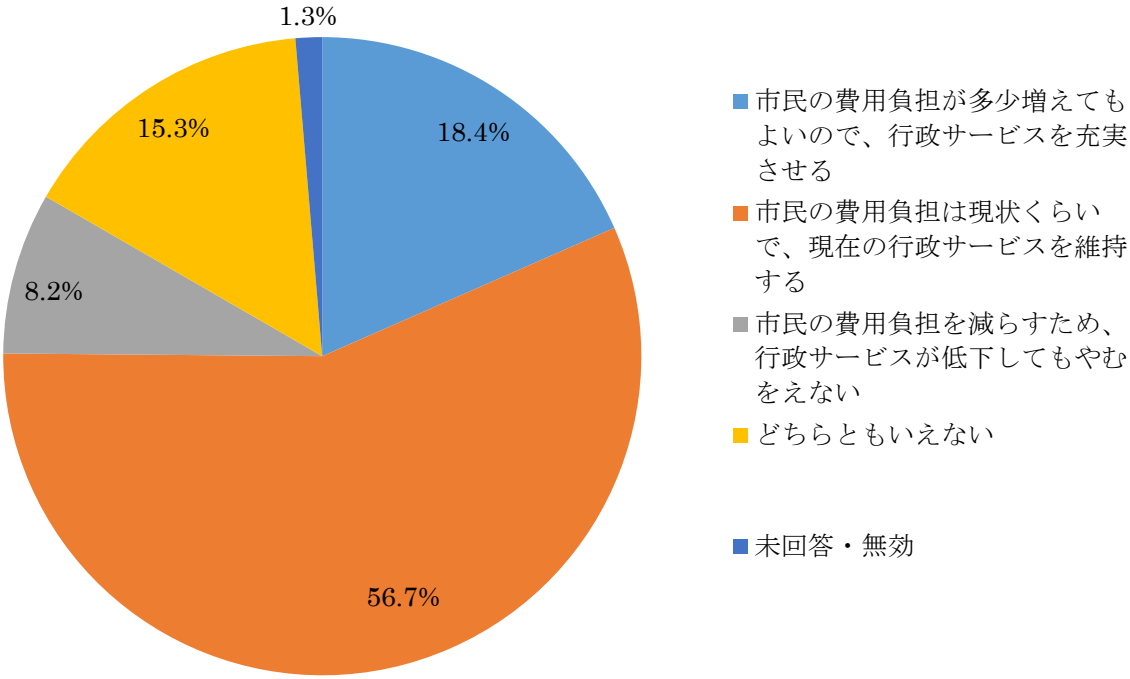


- 回答が多い順に整理した。
- 「中心市街地へ徒歩や自転車、公共交通により容易にアクセスできる地域」が最も多く、回答者の 358 人（49.2%）が回答した。
- 次いで、「医療・福祉施設、子育て支援施設、商業施設等の便利な施設が集約した駅周辺（中心市街地）」が 284 人（39.0%）であった。

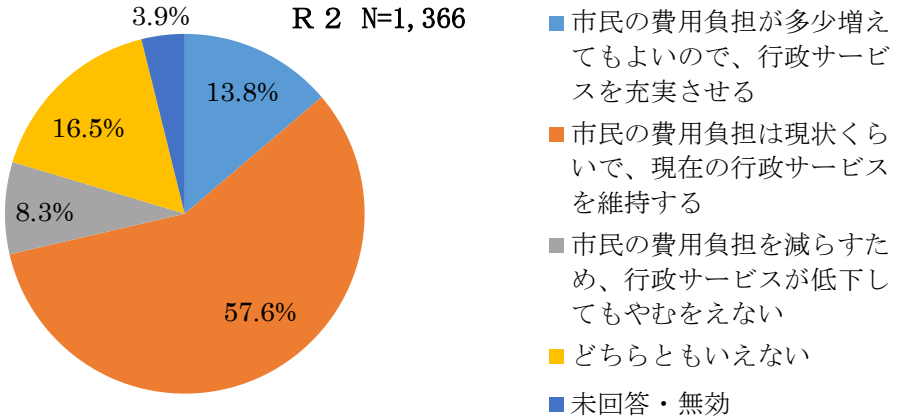
9. 行政サービスと市民の負担のあり方

問９　行政サービスと市民の負担のあり方

N=744

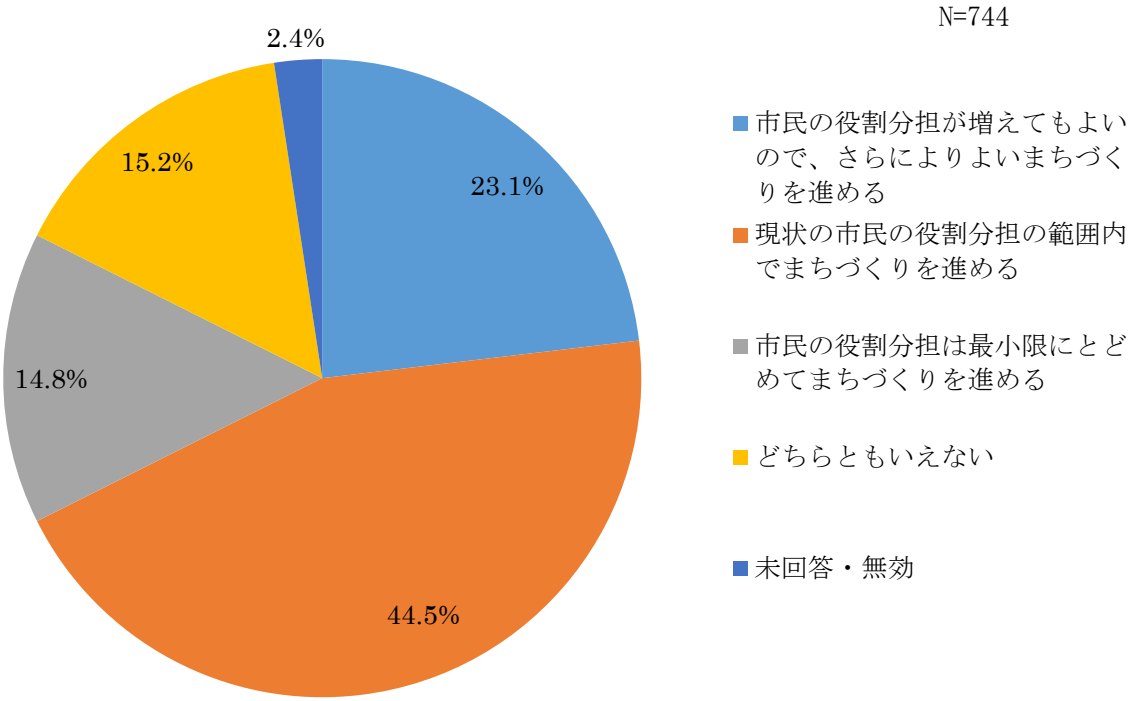


- 「市民の費用負担は現状くらいで、現在の行政サービスを維持する」と回答した人が最も多く、その割合は 56.7%であり、行政サービスの低下は望まない人が多かった。
- 「市民の費用負担が多少増えてもよいので、行政サービスを充実させる」と回答した人の割合は 18.4%であった。
- 「市民の費用負担を減らすため、行政サービスが低下してもやむをえない」と回答した人の割合は、8.2%であった。
- 「どちらともいえない」と回答した人の割合は、15.3%であった。

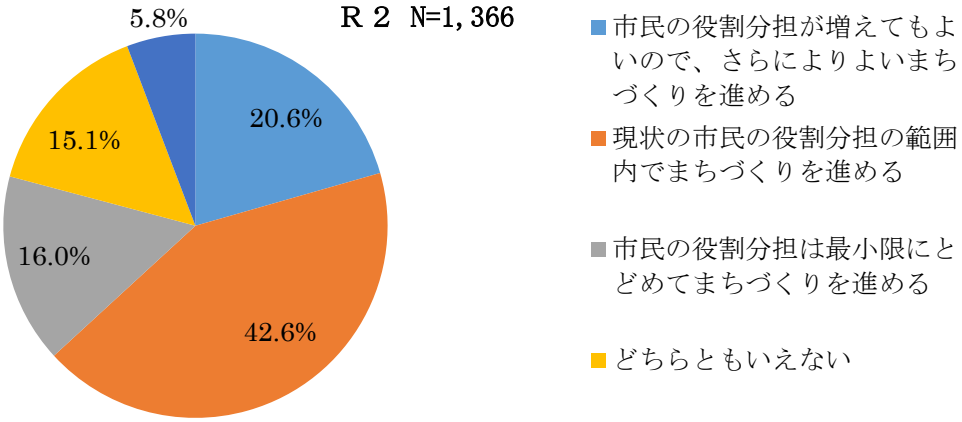


10. 行政と市民の役割分担についての考え方

問10　行政と市民の役割分担のあり方



- 「現状の市民の役割分担の範囲内でまちづくりを進める」と回答した人の割合が最も多く、44.5%であった。
- 「市民の役割分担が増えてもよいので、さらによりよいまちづくりを進める」と回答した人の割合は 23.1%であった。
- 一方で、「市民の役割分担は最小限にとどめてまちづくりを進める」と回答した人の割合は 14.8%であった。



Ⅳ.平均スコア

満足度・重要度の評価を点数化した「平均スコア」により各項目の比較を行った。

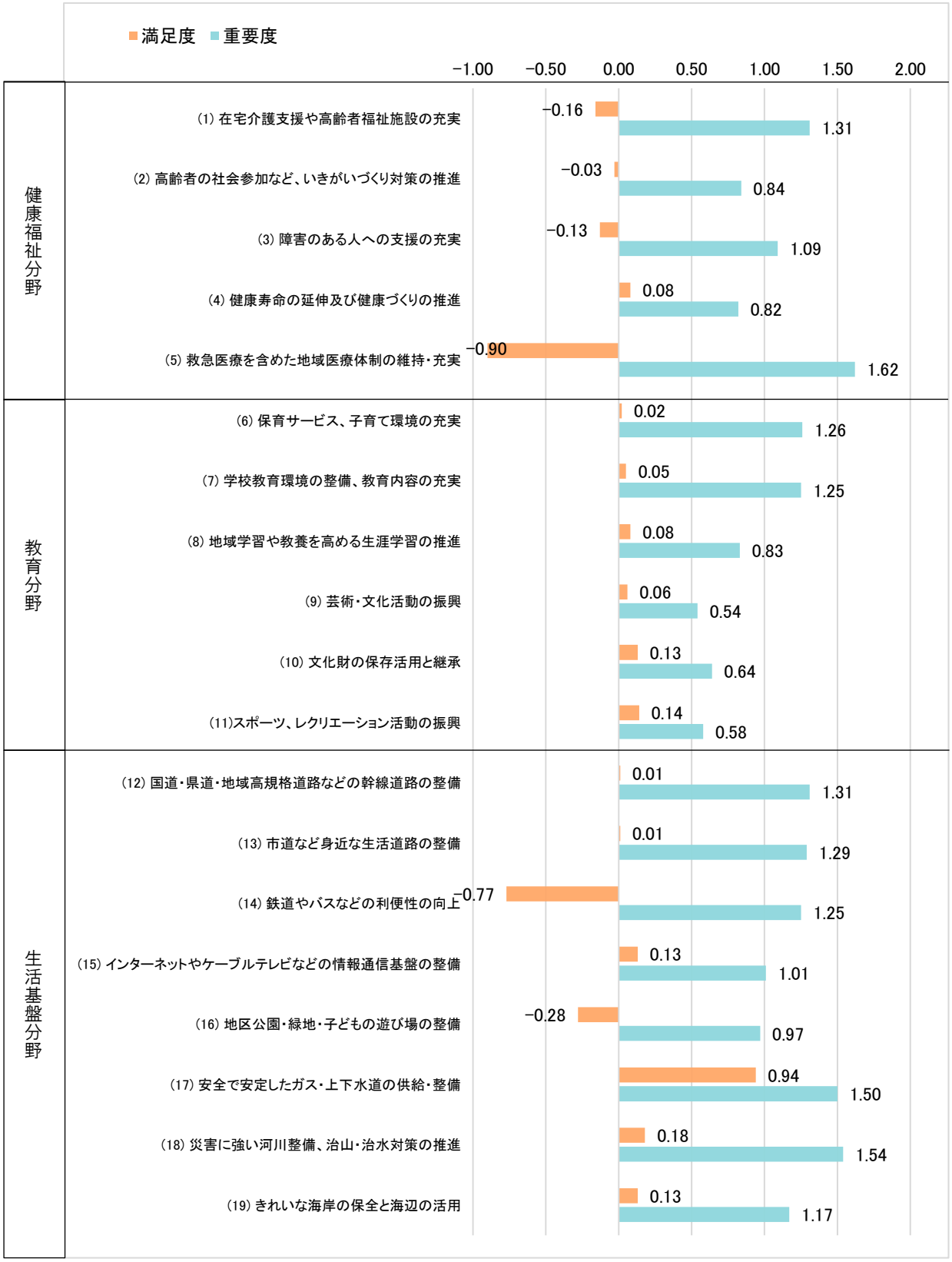
点数は以下の通りとし、その平均点の小数点以下第３位を四捨五入し、小数点以下第２位までを表示している。

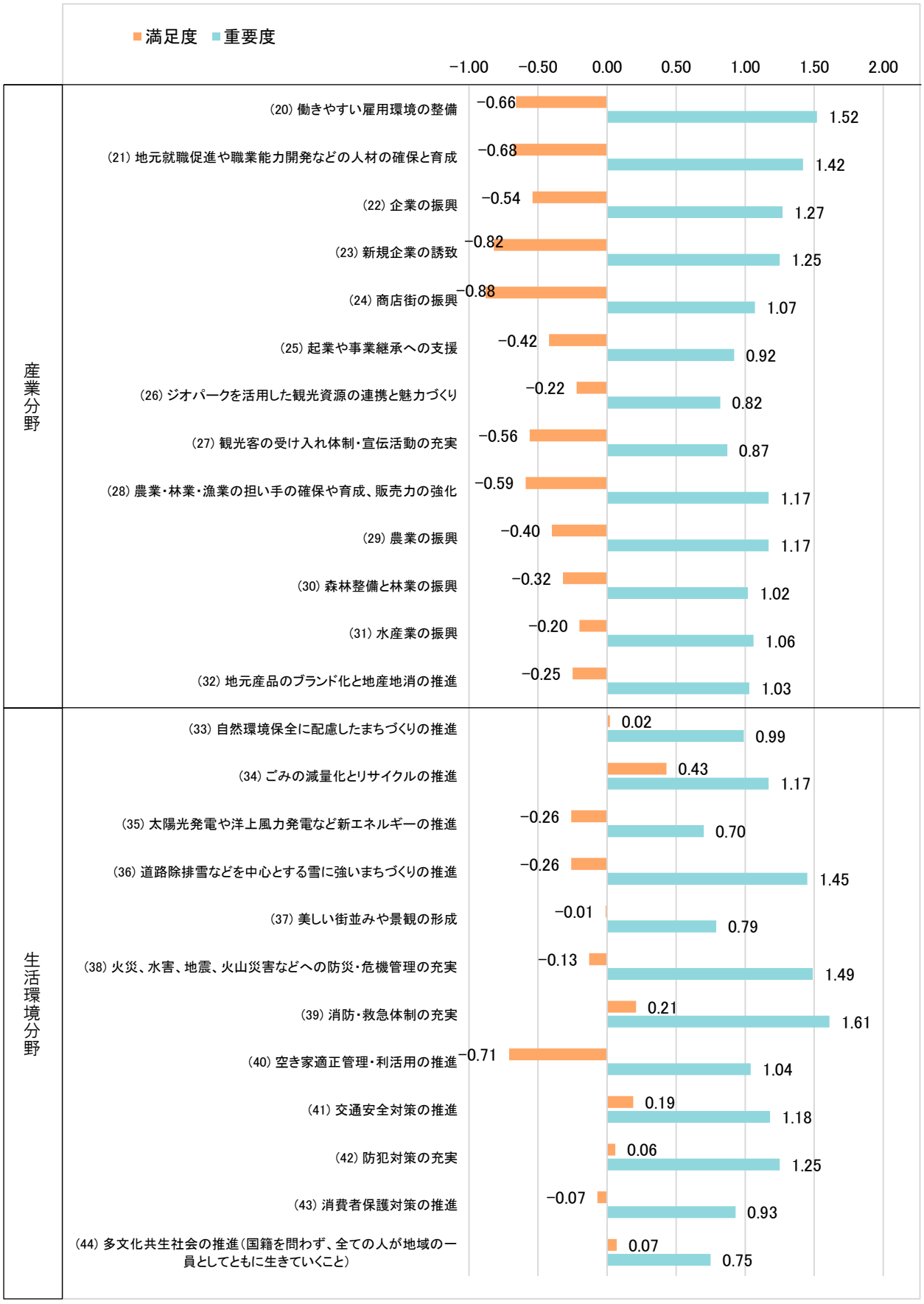
「満足している」　…＋２
「やや満足している」　…＋１
「わからない」　…　０
「やや不満である」　…－１
「不満である」　…－２

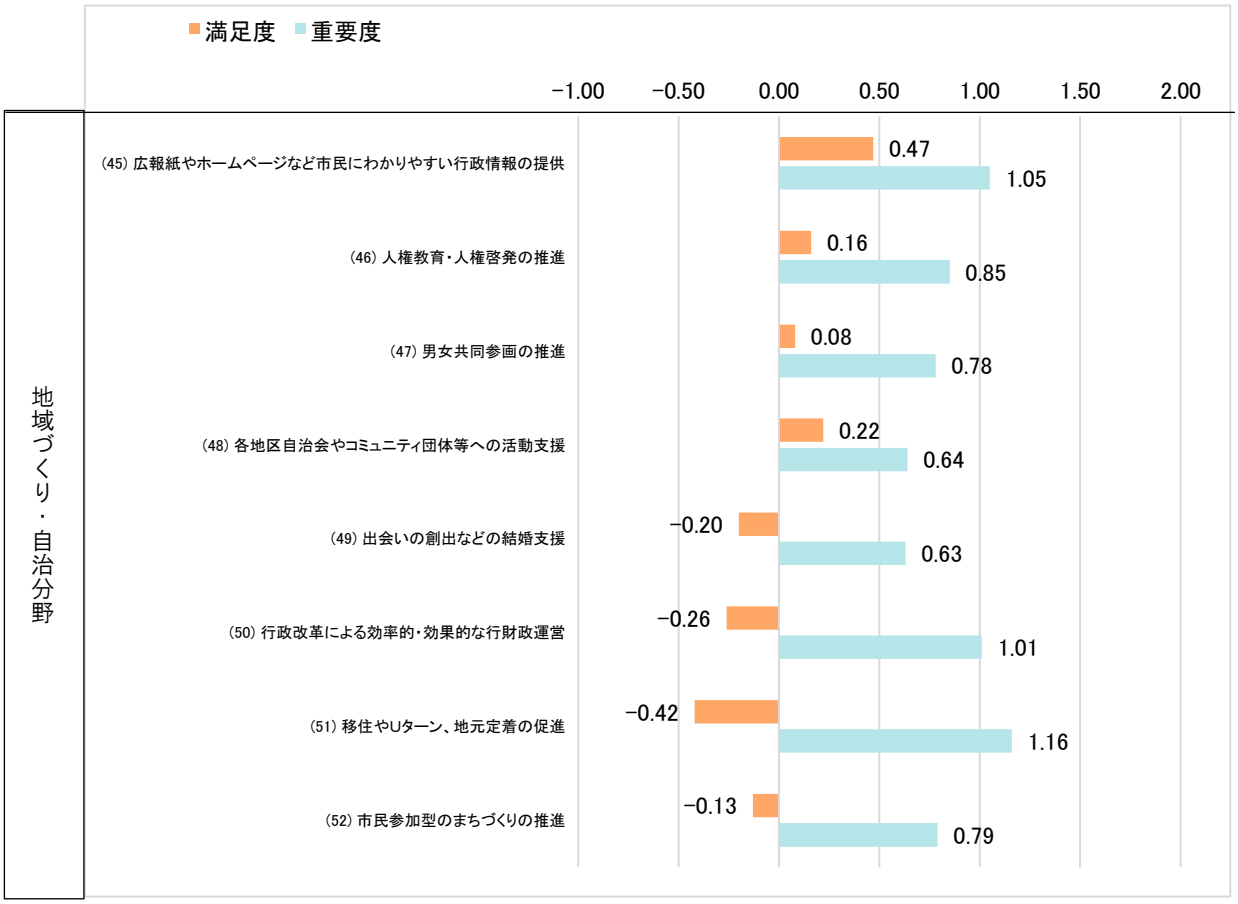
また、前回調査（令和２年）の調査との比較も行った。
前回と今回の調査では、同じ設問項目でも該当分野が異なっているものがある。
そのため、前回の平均値については、今回の分野にあ集計をし直し比較を行った。

母数は以下の通り
令和６年度調査　744
令和２年度調査　1,366
平成 30 年度調査　403
平成 27 年度調査　1,412

1. 全項目比較


満足度
重要度
−1.00
−0.50
0.00
0.50
1.00
1.50
2.00
健康福祉分野
(1) 在宅介護支援や高齢者福祉施設の充実
−0.16
1.31
(2) 高齢者の社会参加など、いきがいづくり対策の推進
−0.03
0.84
(3) 障害のある人への支援の充実
−0.13
1.09
(4) 健康寿命の延伸及び健康づくりの推進
0.08
0.82
(5) 救急医療を含めた地域医療体制の維持・充実
−0.90
1.62
教育分野
(6) 保育サービス、子育て環境の充実
0.02
1.26
(7) 学校教育環境の整備、教育内容の充実
0.05
1.25
(8) 地域学習や教養を高める生涯学習の推進
0.08
0.83
(9) 芸術・文化活動の振興
0.06
0.54
(10) 文化財の保存活用と継承
0.13
0.64
(11)スポーツ、レクリエーション活動の振興
0.14
0.58
生活基盤分野
(12) 国道・県道・地域高規格道路などの幹線道路の整備
0.01
1.31
(13) 市道など身近な生活道路の整備
0.01
1.29
(14) 鉄道やバスなどの利便性の向上
−0.77
1.25
(15) インターネットやケーブルテレビなどの情報通信基盤の整備
0.13
1.01
(16) 地区公園・緑地・子どもの遊び場の整備
−0.28
0.97
(17) 安全で安定したガス・上下水道の供給・整備
0.94
1.50
(18) 災害に強い河川整備、治山・治水対策の推進
0.18
1.54
(19) きれいな海岸の保全と海辺の活用
0.13
1.17


満足度
重要度
−1.00
−0.50
0.00
0.50
1.00
1.50
2.00
産業分野
(20) 働きやすい雇用環境の整備
−0.66
1.52
(21) 地元就職促進や職業能力開発などの人材の確保と育成
−0.68
1.42
(22) 企業の振興
−0.54
1.27
(23) 新規企業の誘致
−0.82
1.25
(24) 商店街の振興
−0.88
1.07
(25) 起業や事業継承への支援
−0.42
0.92
(26) ジオパークを活用した観光資源の連携と魅力づくり
−0.22
0.82
(27) 観光客の受け入れ体制・宣伝活動の充実
−0.56
0.87
(28) 農業・林業・漁業の担い手の確保や育成、販売力の強化
−0.59
1.17
(29) 農業の振興
−0.40
1.17
(30) 森林整備と林業の振興
−0.32
1.02
(31) 水産業の振興
−0.20
1.06
(32) 地元産品のブランド化と地産地消の推進
−0.25
1.03
生活環境分野
(33) 自然環境保全に配慮したまちづくりの推進
0.02
0.99
(34) ごみの減量化とリサイクルの推進
0.43
1.17
(35) 太陽光発電や洋上風力発電など新エネルギーの推進
−0.26
0.70
(36) 道路除排雪などを中心とする雪に強いまちづくりの推進
−0.26
1.45
(37) 美しい街並みや景観の形成
−0.01
0.79
(38) 火災、水害、地震、火山災害などへの防災・危機管理の充実
−0.13
1.49
(39) 消防・救急体制の充実
0.21
1.61
(40) 空き家適正管理・利活用の推進
−0.71
1.04
(41) 交通安全対策の推進
0.19
1.18
(42) 防犯対策の充実
0.06
1.25
(43) 消費者保護対策の推進
−0.07
0.93
(44) 多文化共生社会の推進（国籍を問わず、全ての人が地域の一員としてともに生きていくこと）
0.07
0.75


満足度
重要度
−1.00
−0.50
0.00
0.50
1.00
1.50
2.00
地域づくり・自治分野
(45) 広報紙やホームページなど市民にわかりやすい行政情報の提供
0.47
1.05
(46) 人権教育・人権啓発の推進
0.16
0.85
(47) 男女共同参画の推進
0.08
0.78
(48) 各地区自治会やコミュニティ団体等への活動支援
0.22
0.64
(49) 出会いの創出などの結婚支援
−0.20
0.63
(50) 行政改革による効率的・効果的な行財政運営
−0.26
1.01
(51) 移住やUターン、地元定着の促進
−0.42
1.16
(52) 市民参加型のまちづくりの推進
−0.13
0.79

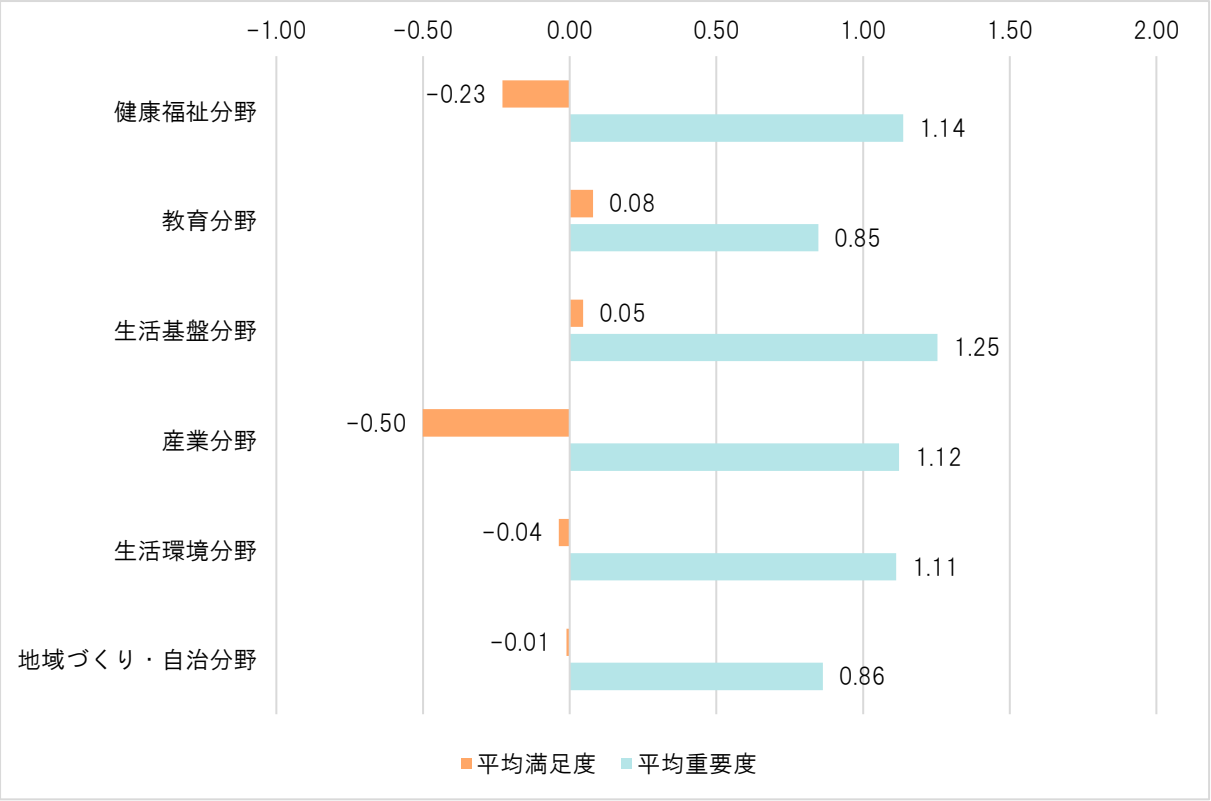
■満足度の低い項目上位 10 項目

1	救急医療を含めた地域医療体制の維持・充実	-0.90Pt
2	商店街の振興	-0.88Pt
3	新規企業の誘致	-0.82Pt
4	鉄道やバスなどの利便性の向上	-0.77Pt
5	空き家適正管理・利活用の推進	-0.71Pt
6	地元就職促進や職業能力開発などの人材の確保と育成	-0.68Pt
7	働きやすい雇用環境の整備	-0.66Pt
8	農業・林業・漁業の担い手の確保や育成、販売力の強化	-0.59Pt
9	観光客の受け入れ体制・宣伝活動の充実	-0.56Pt
10	企業の振興	-0.54Pt

■重要度の高い項目上位 10 項目

1	救急医療を含めた地域医療体制の維持・充実	1.62Pt
2	消防・救急体制の充実	1.61Pt
3	災害に強い河川整備、治山・治水対策の推進	1.54Pt
4	働きやすい雇用環境の整備	1.52Pt
5	安全で安定したガス・上下水道の供給・整備	1.50Pt
6	火災、水害、地震、火山災害などへの防災・危機管理の充実	1.49Pt
7	道路除排雪などを中心とする雪に強いまちづくりの推進	1.45Pt
8	地元就職促進や職業能力開発などの人材の確保と育成	1.42Pt
9	在宅介護支援や高齢者福祉施設の充実	1.31Pt
9	国道・県道・地域高規格道路などの幹線道路の整備	1.31Pt

2. 分野別満足度・重要度



① 健康福祉分野

- 平均満足度は-0.23、平均重要度は1.14だった。
- 現状にやや不満感があり、今後の重要度は**２番目**に高かった。

② 教育分野

- 平均満足度は0.08、平均重要度は0.85だった。
- 現状にやや満足感があり、今後の重要度は**最も低い６番目**だった。

③ 生活基盤分野

- 平均満足度は0.05、平均重要度は1.25だった。
- 現状にやや満足感があり、今後の重要度は**最も高い１番目**だった。

④ 産業分野

- 平均満足度は-0.50、平均重要度は1.12だった。
- 現状に**最も不満感があり**、今後の重要度は**３番目**に高かった。

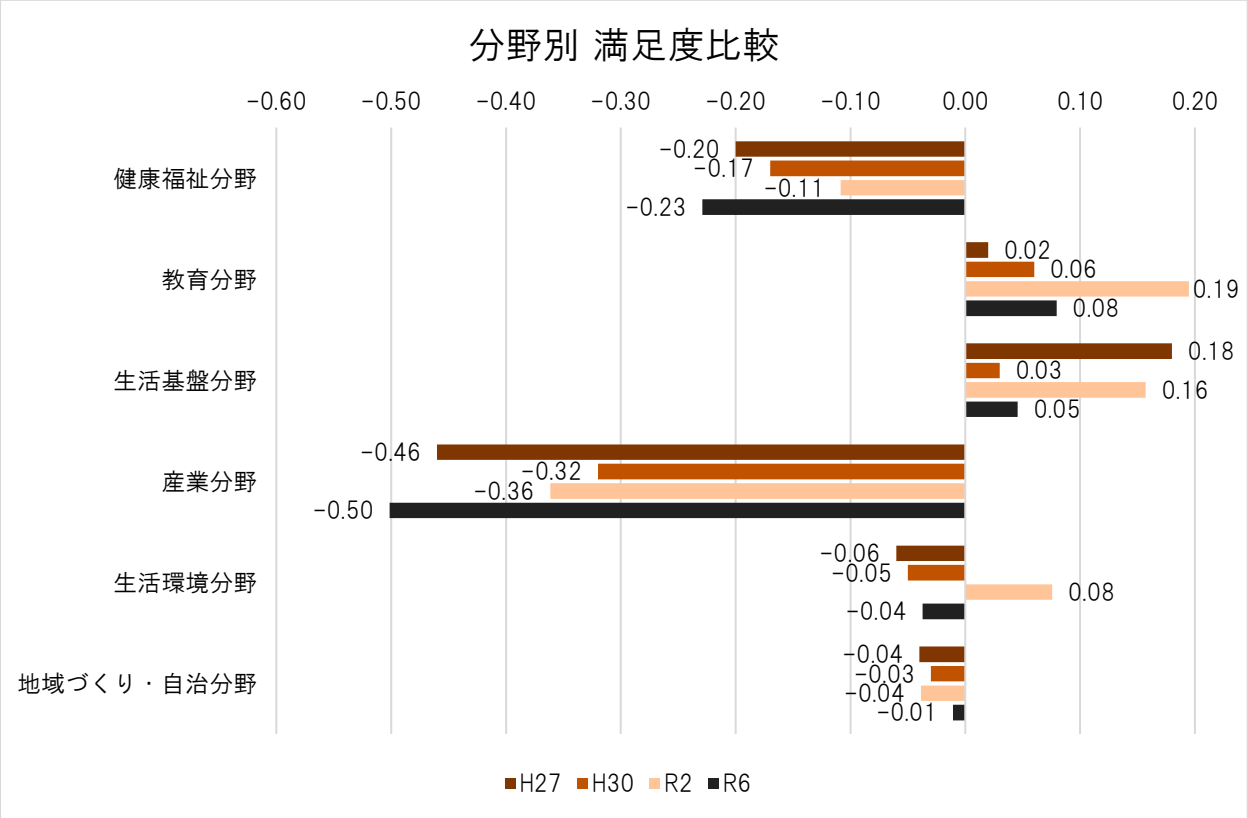
⑤ 生活環境分野

- 平均満足度は-0.04、平均重要度は1.11だった。
- 現状はやや不満感があり、今後の重要度は**４番目**に高かった。

⑥ 地域づくり・自治分野

- 平均満足度は-0.01、平均重要度は0.86だった。
- 現状はやや不満感があり、今後の重要度は**５番目**に高かった。

3. 分野別満足度 前回調査との比較



① 健康福祉分野

- H27 調査-0.20、H30 調査-0.17、R2 調査-0.11 に対し、R6 調査-0.23 と前回より 0.12 ポイント低下した。

② 教育分野（前回調査までの「子育て・教育分野」）

- H27 調査 0.02、H30 調査 0.06、R2 調査 0.19 に対し、R6 調査 0.08 と前回より 0.11 ポイント低下した。

③ 生活基盤分野（前回調査までの「土地利用・公共インフラ分野」）

- H27 調査 0.18、H30 調査 0.03、R2 調査 0.16 に対し、R6 調査 0.05 と前回より 0.11 ポイント低下した。

④ 産業分野

- H27 調査-0.46、H30 調査-0.32、R2 調査-0.36 に対し、R6 調査-0.50 と前回より 0.14 ポイント低下した。

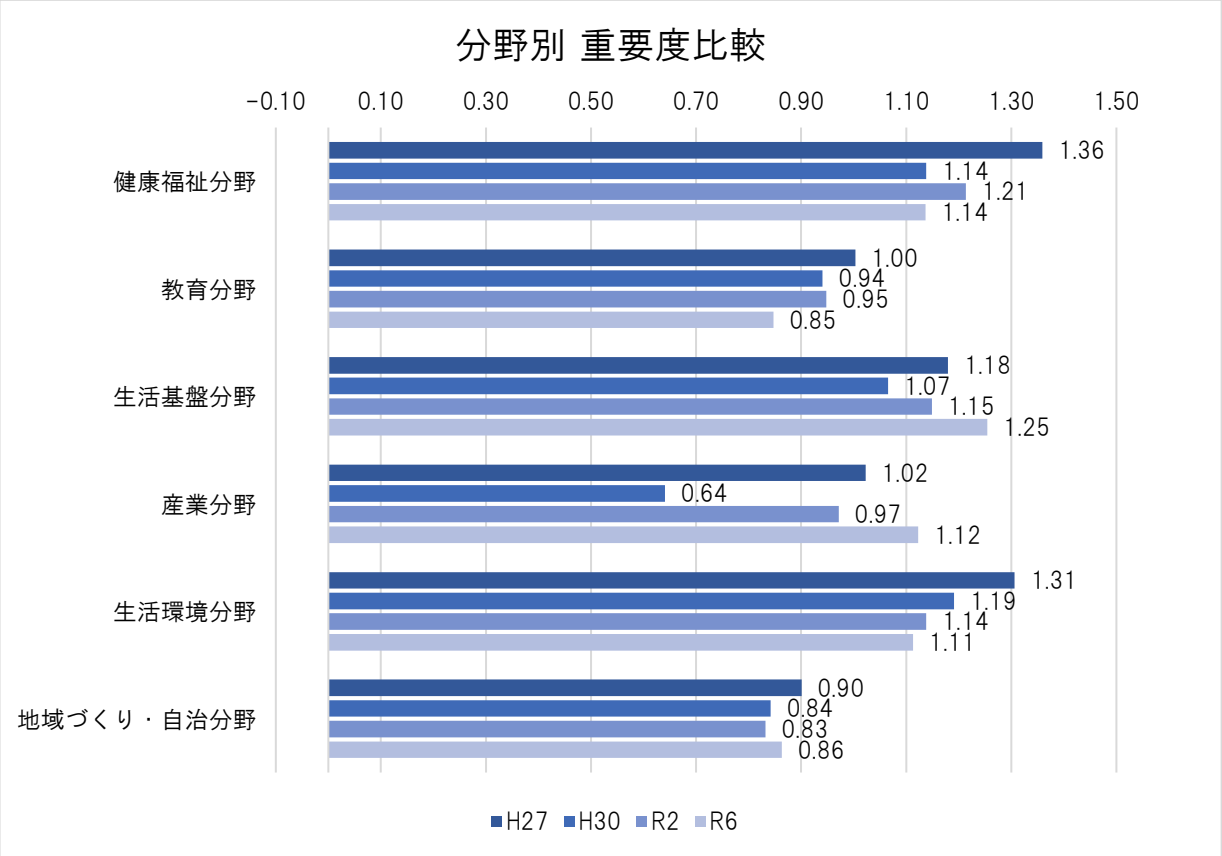
⑤ 生活環境分野（前回調査までの「環境・防災・防犯分野」）

- H27 調査-0.06、H30 調査-0.05、R2 調査 0.08 に対し、R6 調査-0.04 と前回より 0.12 ポイント低下した。

⑥ 地域づくり・自治分野（前回調査までの「地域づくり・市民活動・移住定住分野」および「行財政分野」）

- H27 調査-0.04、H30 調査-0.03、R2 調査-0.04 に対し、R6 調査-0.01 と前回より 0.03 ポイント上昇した。

4. 分野別重要度 前回調査との比較



① 健康福祉分野

- H27 調査 1.36、H30 調査 1.14、R2 調査 1.21 に対し、R6 調査 1.14 と前回より 0.07 ポイント低下した。

② 教育分野（前回調査までの「子育て・教育分野」）

- H27 調査 1.00、H30 調査 0.94、R2 調査 0.95 に対し、R6 調査 0.85 と前回より 0.10 ポイント低下した。

③ 生活基盤分野（前回調査までの「土地利用・公共インフラ分野」）

- H27 調査 1.18、H30 調査 1.07 、R2 調査 1.15 に対し、R6 調査 1.25 と前回より 0.10 ポイント上昇した。

④ 産業分野

- H27 調査 1.02、H30 調査 0.64、R2 調査 0.97 に対し、R6 調査 1.12 と前回より 0.15 ポイント上昇した。

⑤ 生活環境分野（前回調査までの「環境・防災・防犯分野」）

- H27 調査 1.31、H30 調査 1.19、R2 調査 1.14 に対し、R6 調査 1.11 と前回より 0.03 ポイント低下した。

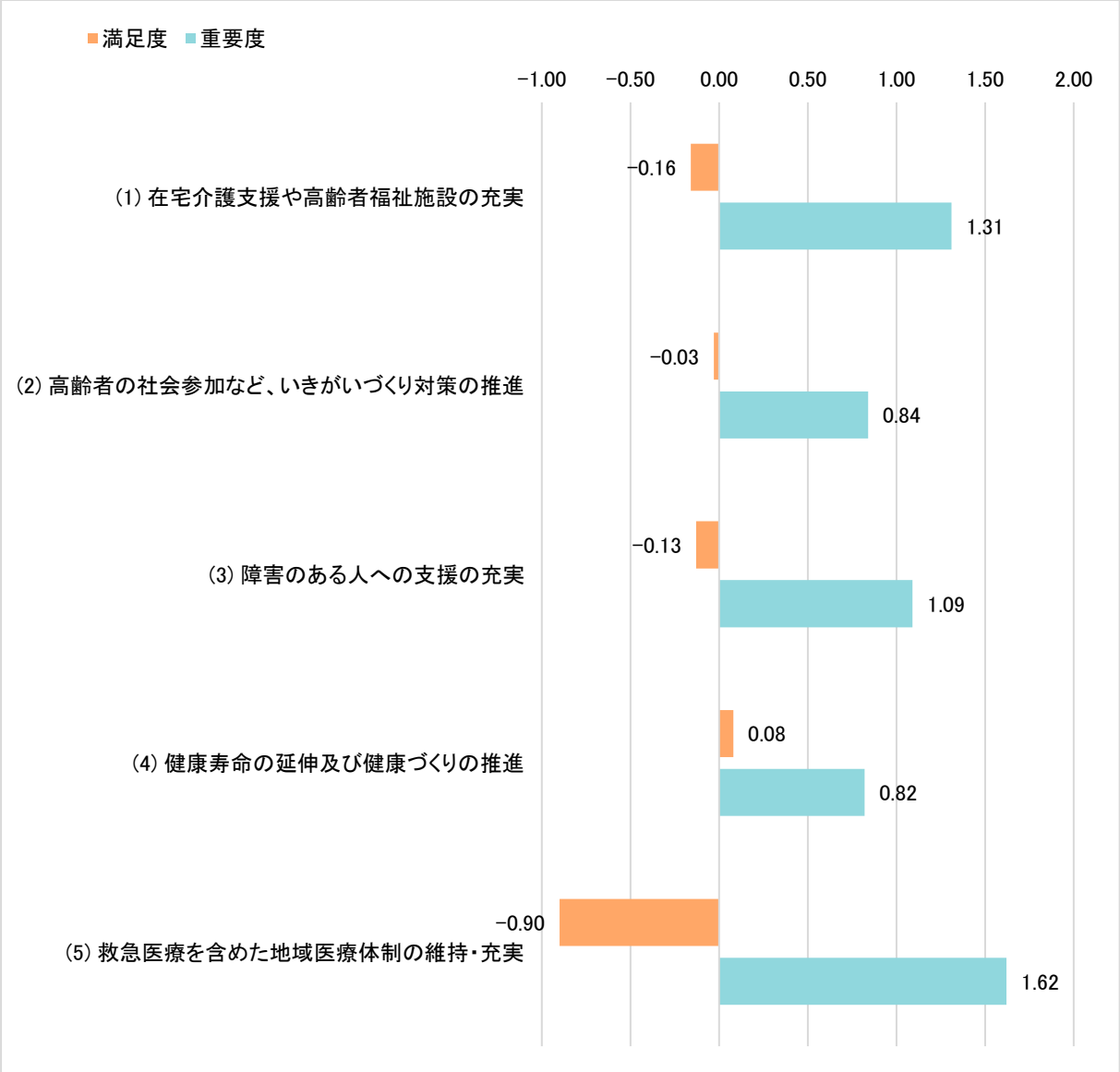
⑥ 地域づくり・自治分野（前回調査までの「地域づくり・市民活動・移住定住分野」および「行財政分野」）

- H27 調査 0.90、H30 調査 0.84、R2 調査 0.83 に対し、R6 調査 0.86 と前回より 0.03 ポイント上昇した。

5. 項目別平均スコア

① 健康福祉分野

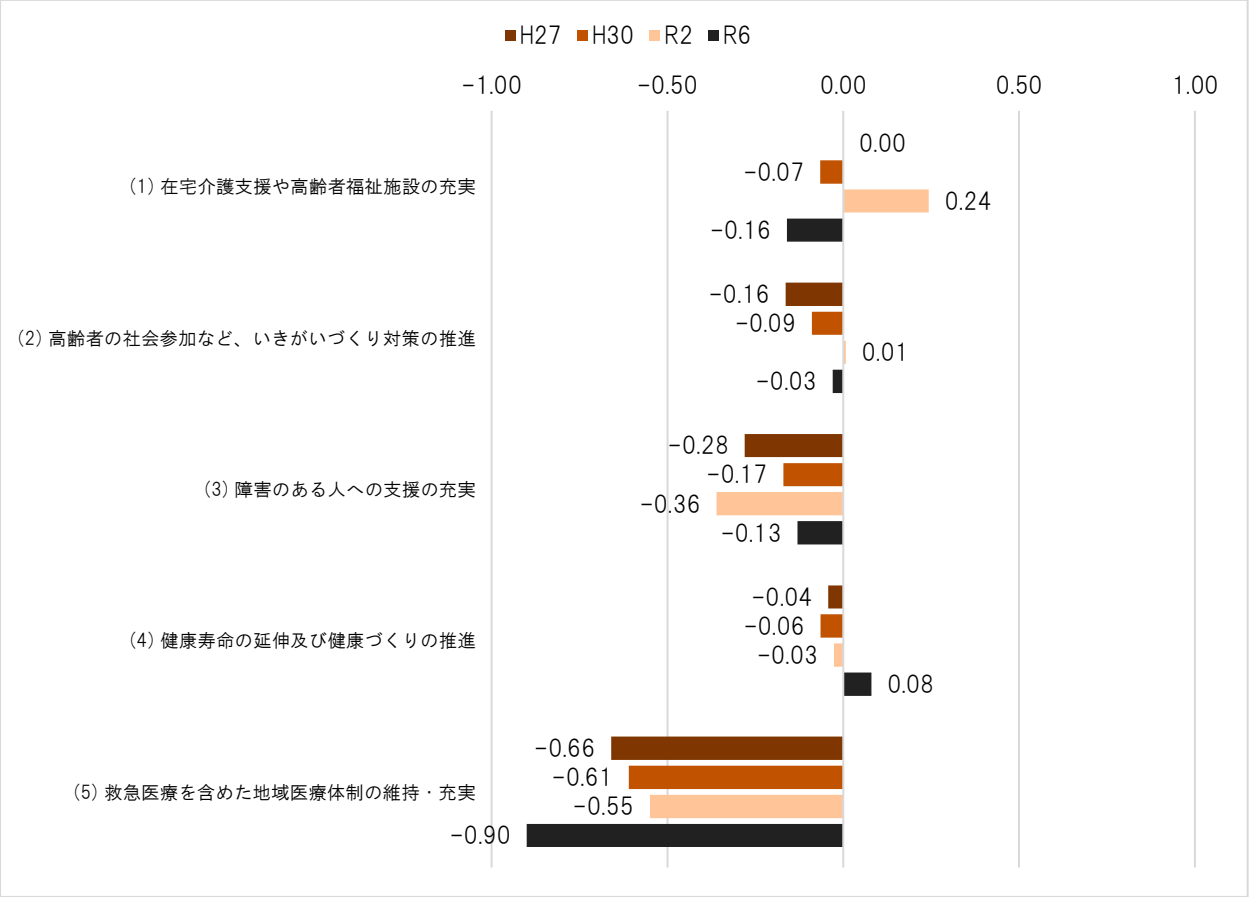
(1) 満足度・重要度



- 満足度がマイナスとなった項目は、『(1)在宅介護支援や高齢者福祉施設の充実』、『(2)高齢者の社会参加など、いきがいづくり対策の推進』、『(3)障害のある人への支援の充実』、『(5)救急医療を含めた地域医療体制の維持・充実』だった。
- 重要度が高かったのは、『(5)救急医療を含めた地域医療体制の維持・充実』、『(1)在宅介護支援や高齢者福祉施設の充実』などだった。
- 満足度が低く重要度が高い喫緊の課題は『(5)救急医療を含めた地域医療体制の維持・充実』だった。

① 健康福祉分野

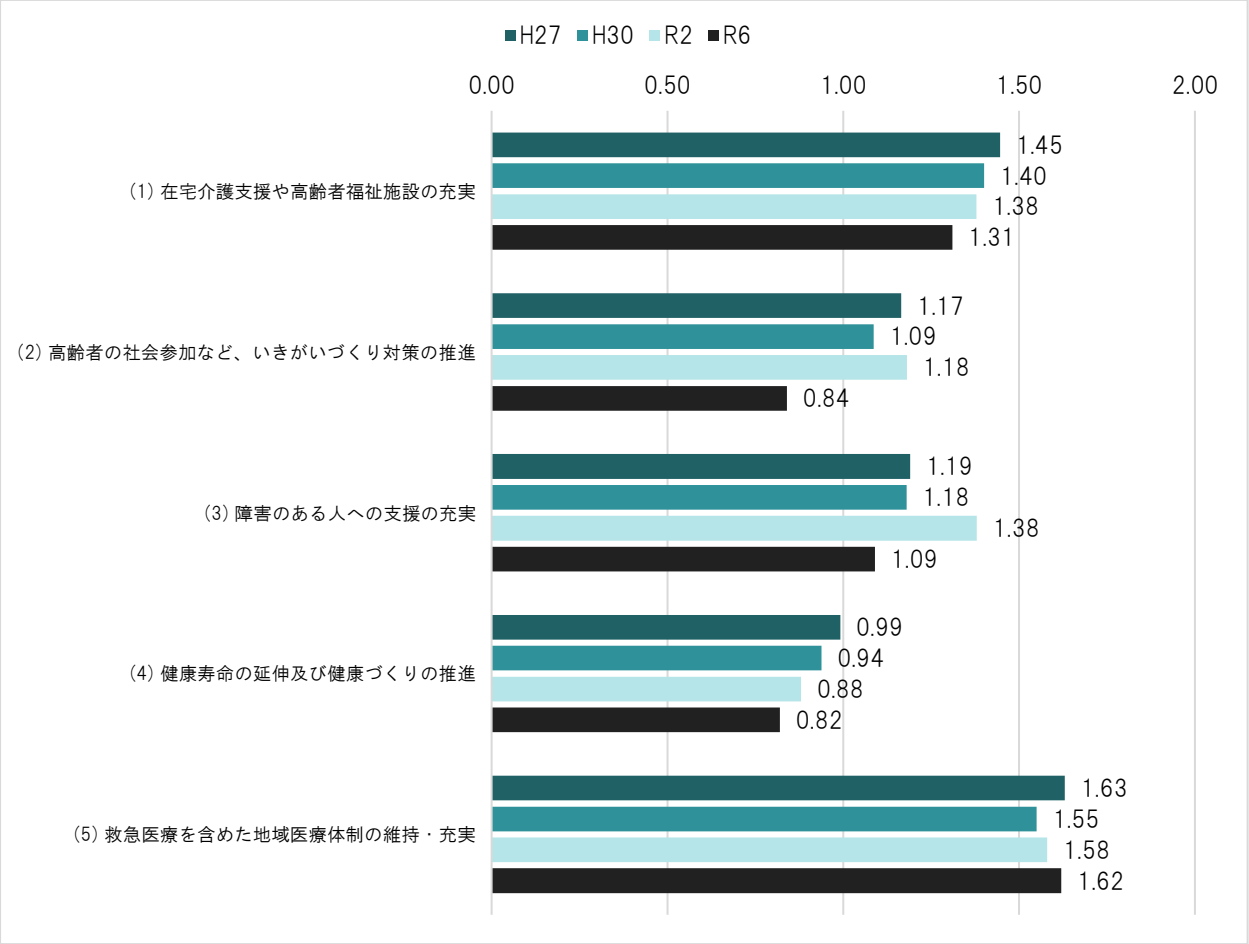
（2）過去の調査との比較＜満足度＞



- 『(4)健康寿命の延伸及び健康づくりの推進』は、満足度が上昇・改善した。
- 『(1)在宅介護支援や高齢者福祉施設の充実』、『(5)救急医療を含めた地域医療体制の維持・充実』は、満足度が大きく低下した。

① 健康福祉分野

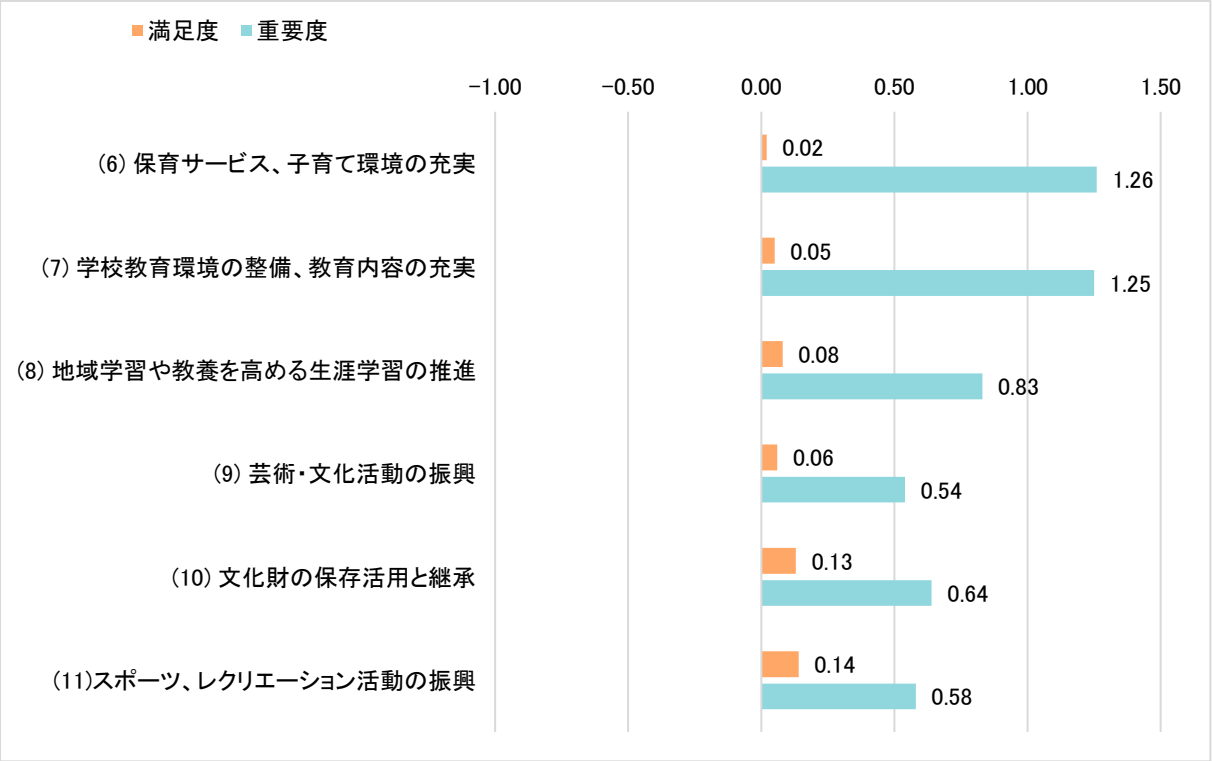
(3) 過去の調査との比較＜重要度＞



- 『(5)救急医療を含めた地域医療体制の維持・充実』の重要度が高まっている。

② 教育分野

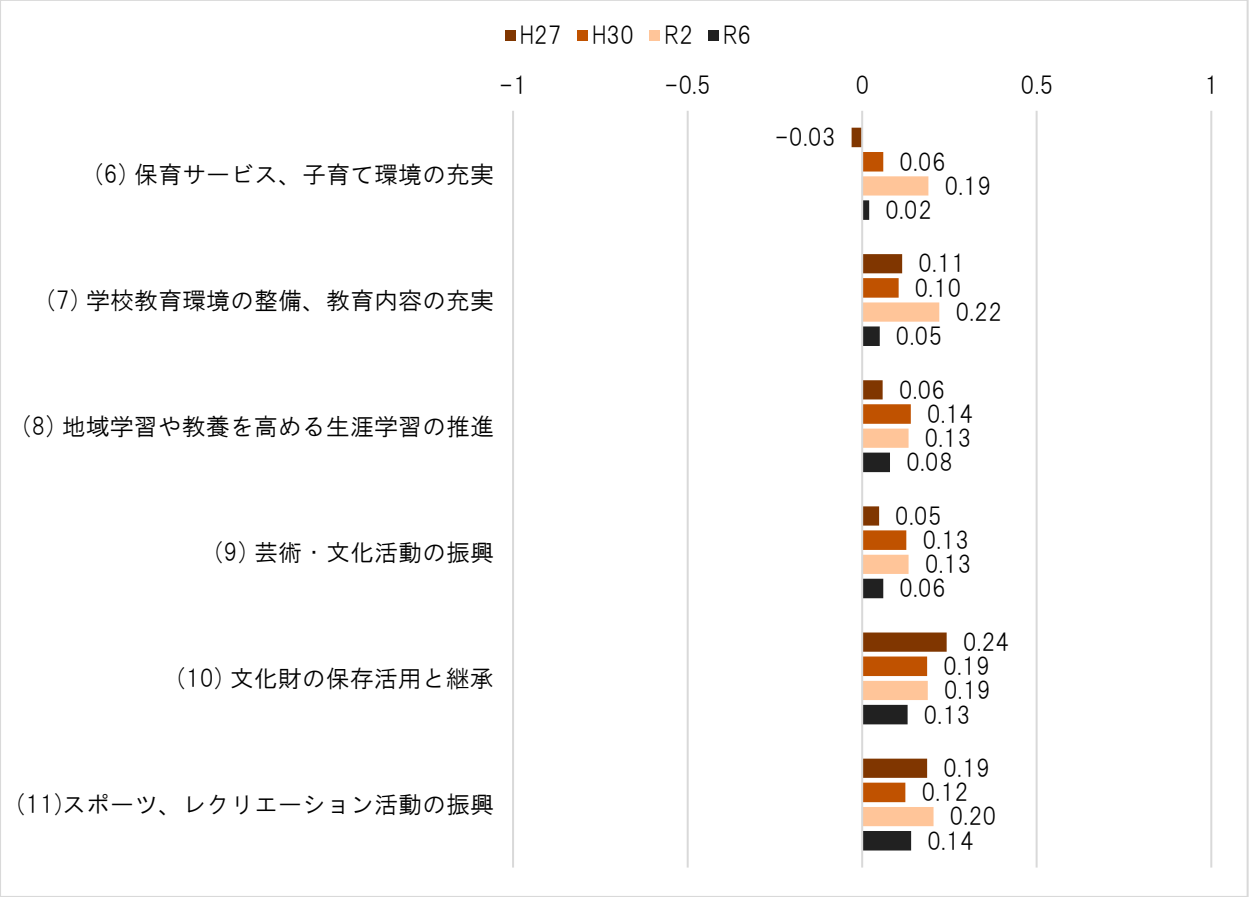
(1) 満足度・重要度



- 満足度は、全体的にプラスだった。
- 重要度が高かったのは、『(6)保育サービス、子育て環境の充実』、『(7)学校教育環境の整備、教育内容の充実』だった。一方で、重要度が低かったのは、『(9)芸術・文化活動の振興』、『(11)スポーツ、レクリエーション活動の振興』だった。

② 教育分野

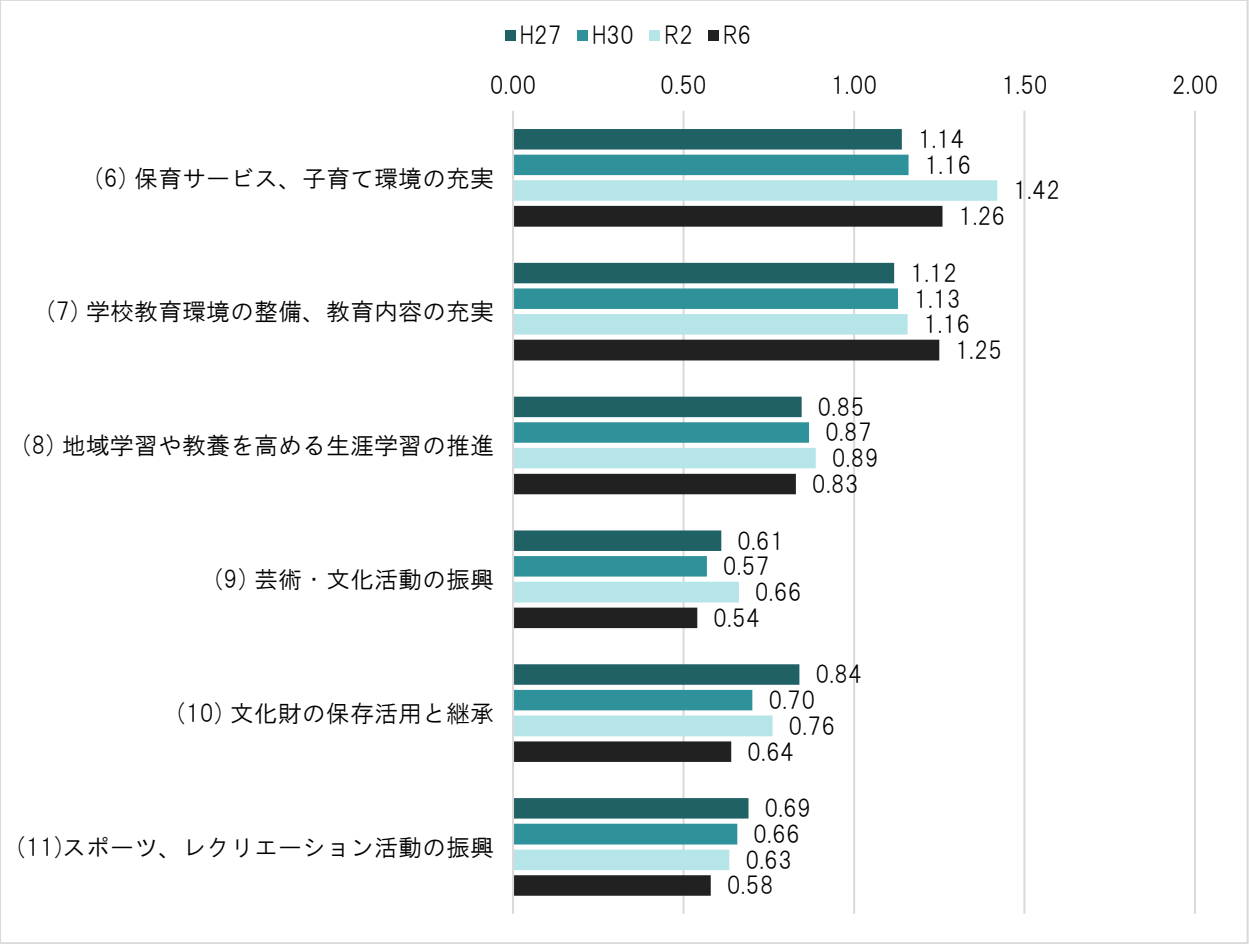
（2）過去の調査との比較＜満足度＞



- 満足度が全体的に低下した。

② 教育分野

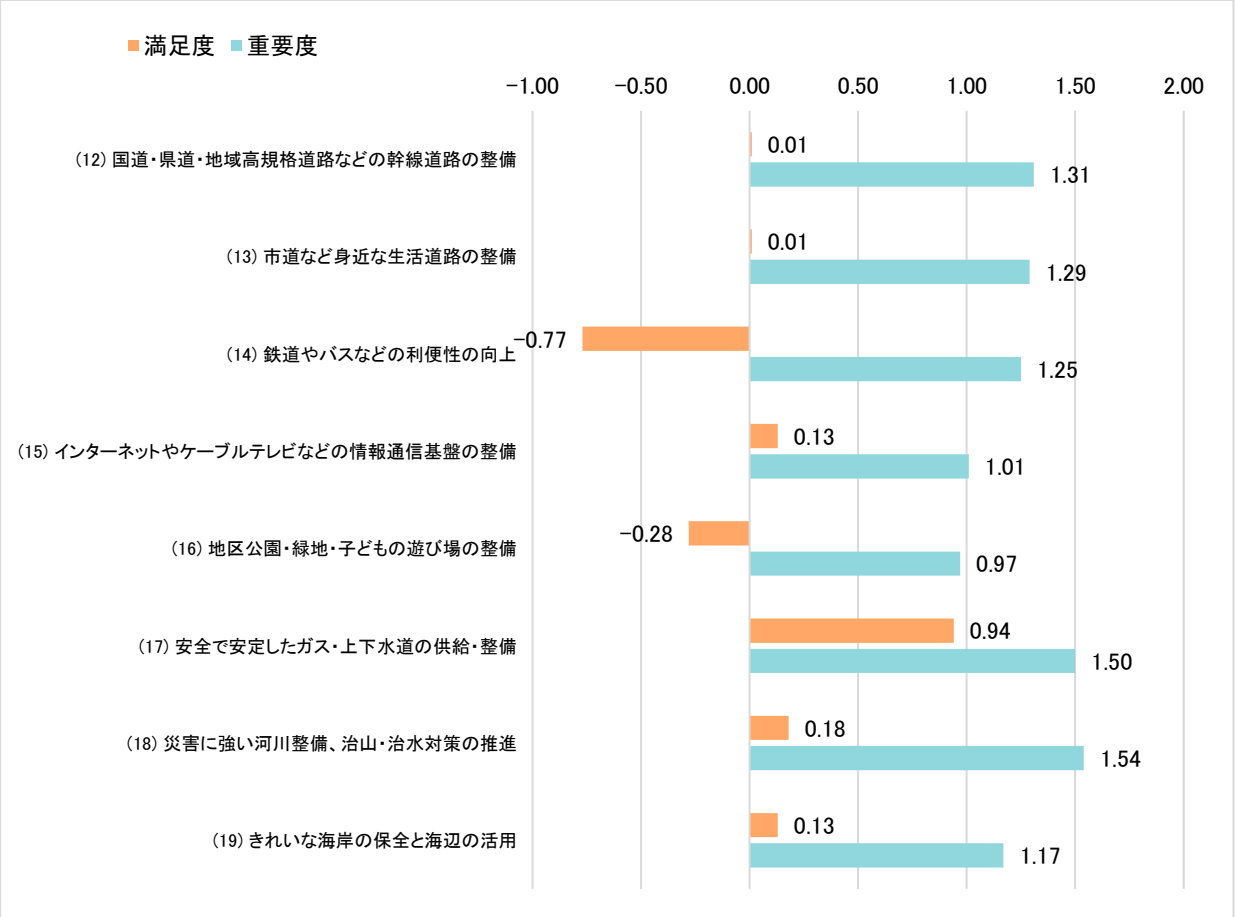
(3) 過去の調査との比較＜重要度＞



- 『(7)学校教育環境の整備、教育内容の充実』の重要度が高まり、『(6)保育サービス、子育て環境の充実』が引き続き高い傾向となっている。一方で、その他の項目は低下した。

③ 生活基盤分野

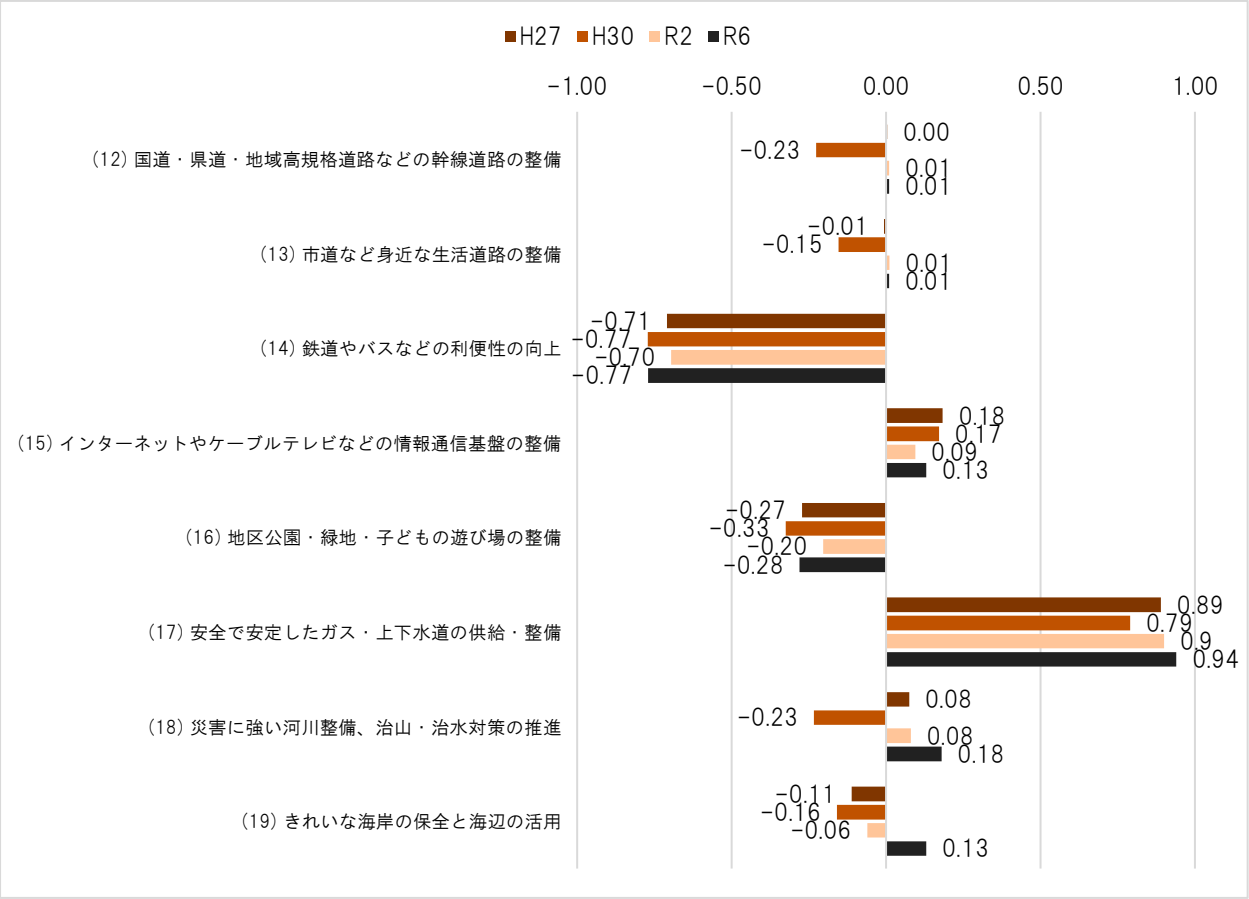
(1) 満足度・重要度



- 満足度が大きく低下となった項目は、『(14)鉄道やバスなどの利便性の向上』、『(16)地区公園・緑地・子どもの遊び場の整備』などだった。
- 重要度が高かったのは、『(17)安全で安定したガス・上下水道の供給・整備』、『(18)災害に強い河川整備、治山・治水対策の推進』だった。
- 一方で、満足度が低く重要度が高い喫緊の課題は『(14)鉄道やバスなどの利便性の向上』だった。

③ 生活基盤分野

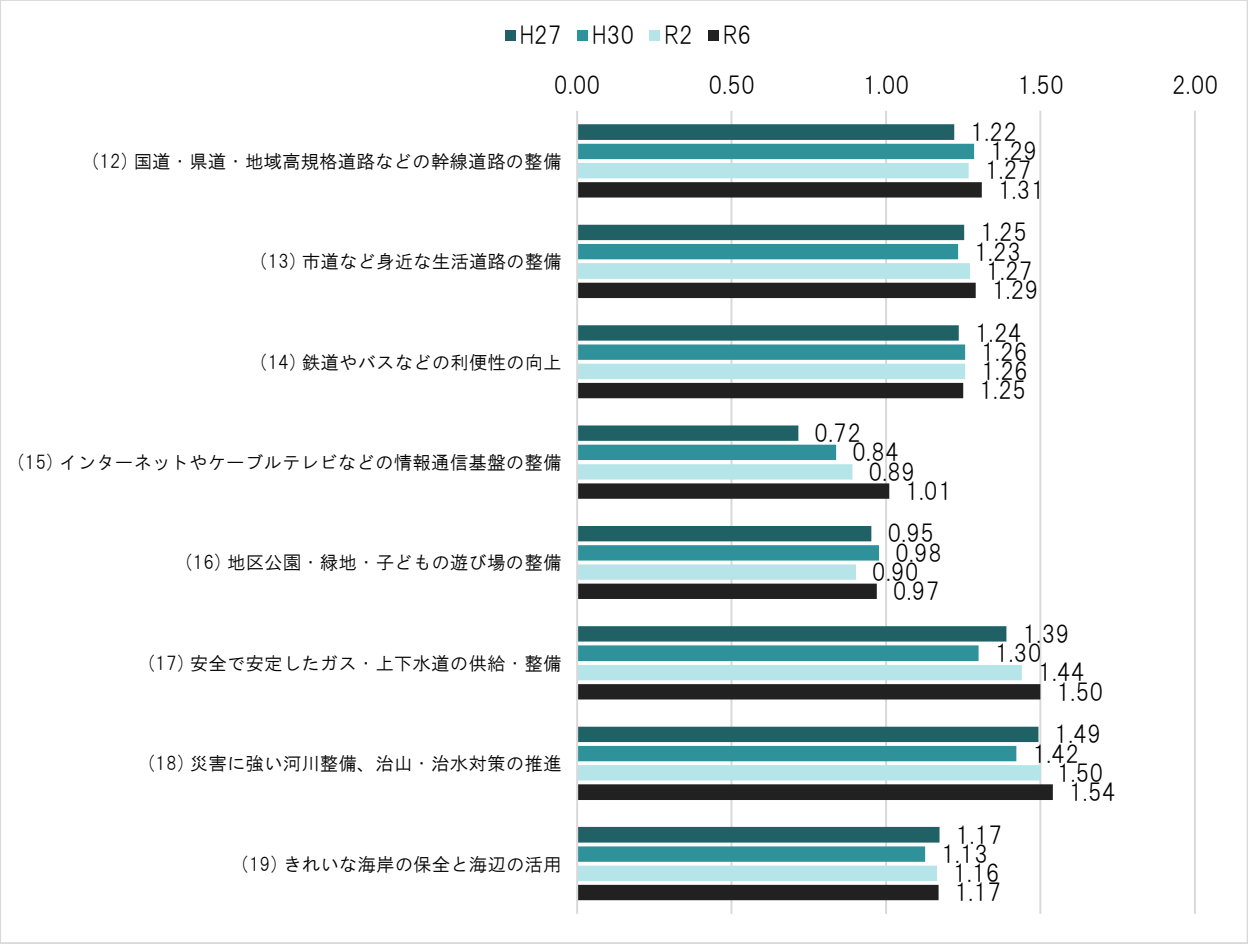
（2）過去の調査との比較＜満足度＞



- 『(15)インターネットやケーブルテレビなどの情報通信基盤の整備』、『(17)安全で安定したガス・上下水道の供給・整備』、『(18)災害に強い河川整備、治山・治水対策の推進』、『(19)きれいな海岸の保全と海辺の活用』などは満足度が上昇・改善した。

③ 生活基盤分野

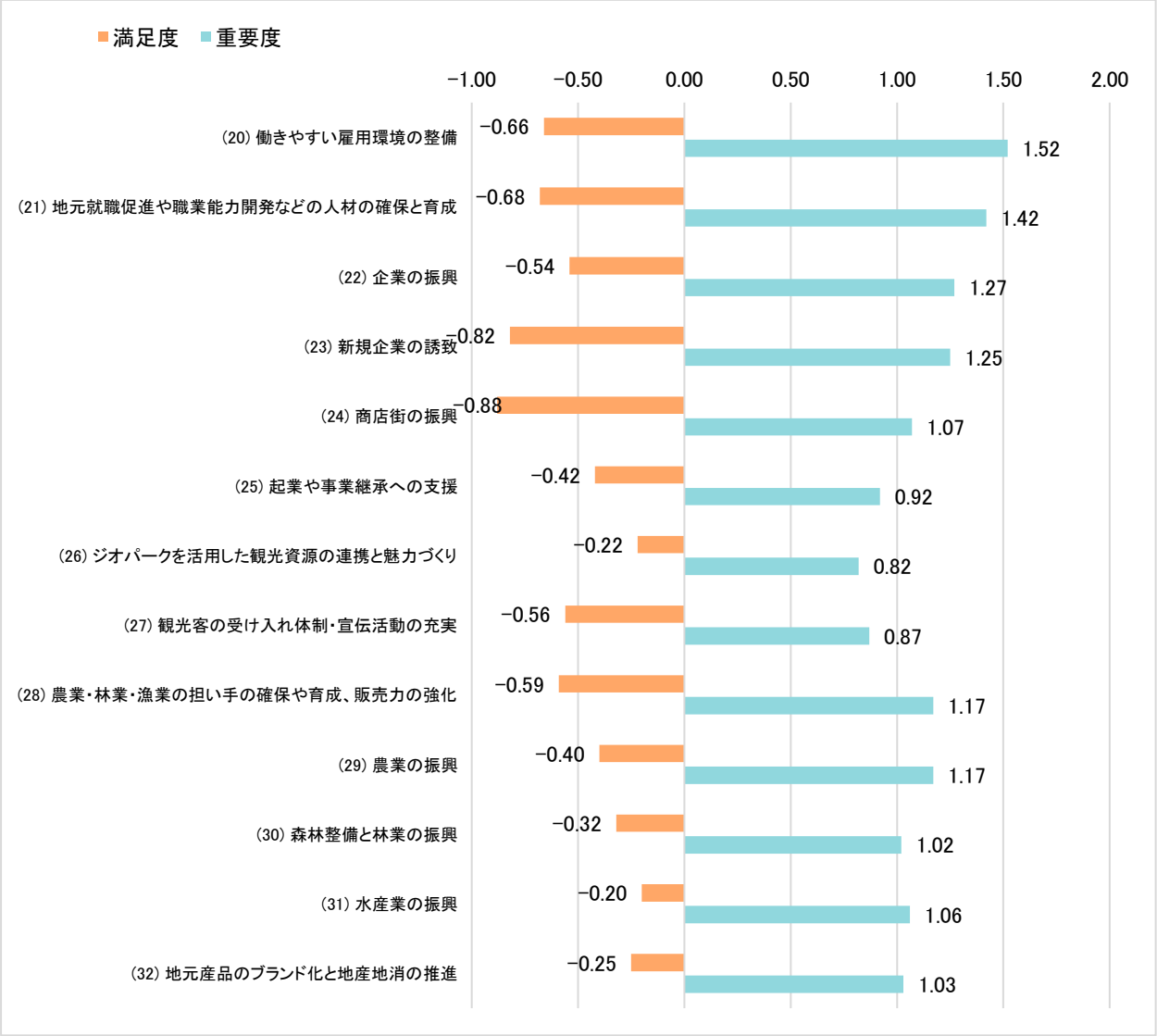
（3）過去の調査との比較＜重要度＞



- 全体的に前回と比べ重要度のポイントは増加傾向にある。

④ 産業分野

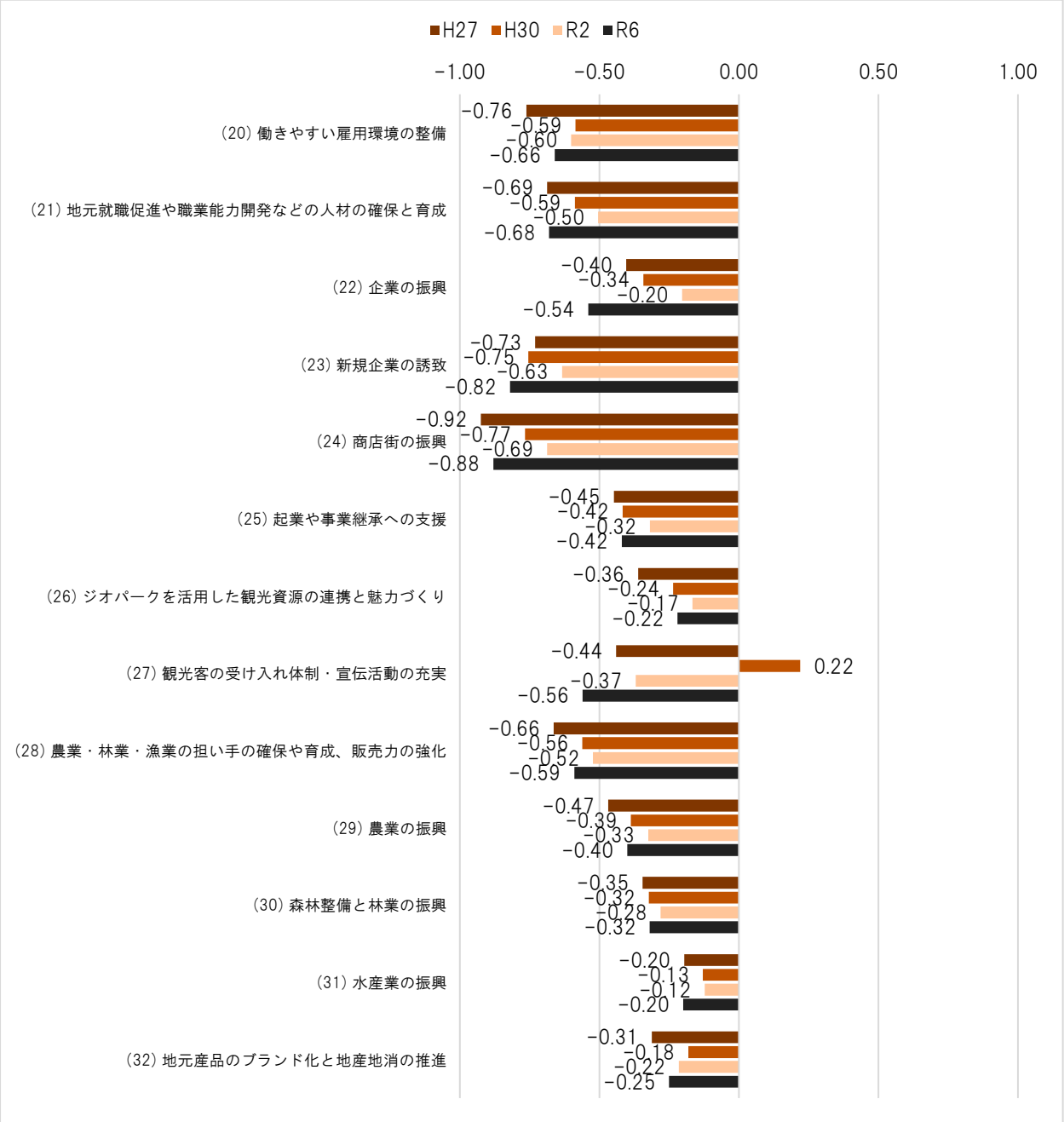
(1) 満足度・重要度



- 満足度は、全体的にマイナスだった。
- 満足度が大きくマイナスとなった項目は、『(23)新規企業の誘致』、『(24)商店街の振興』などだった。
- 重要度が高かったのは、『(20)働きやすい雇用環境の整備』、『(21)地元就職促進や職業能力開発などの人材の確保と育成』などだった。

④　産業分野

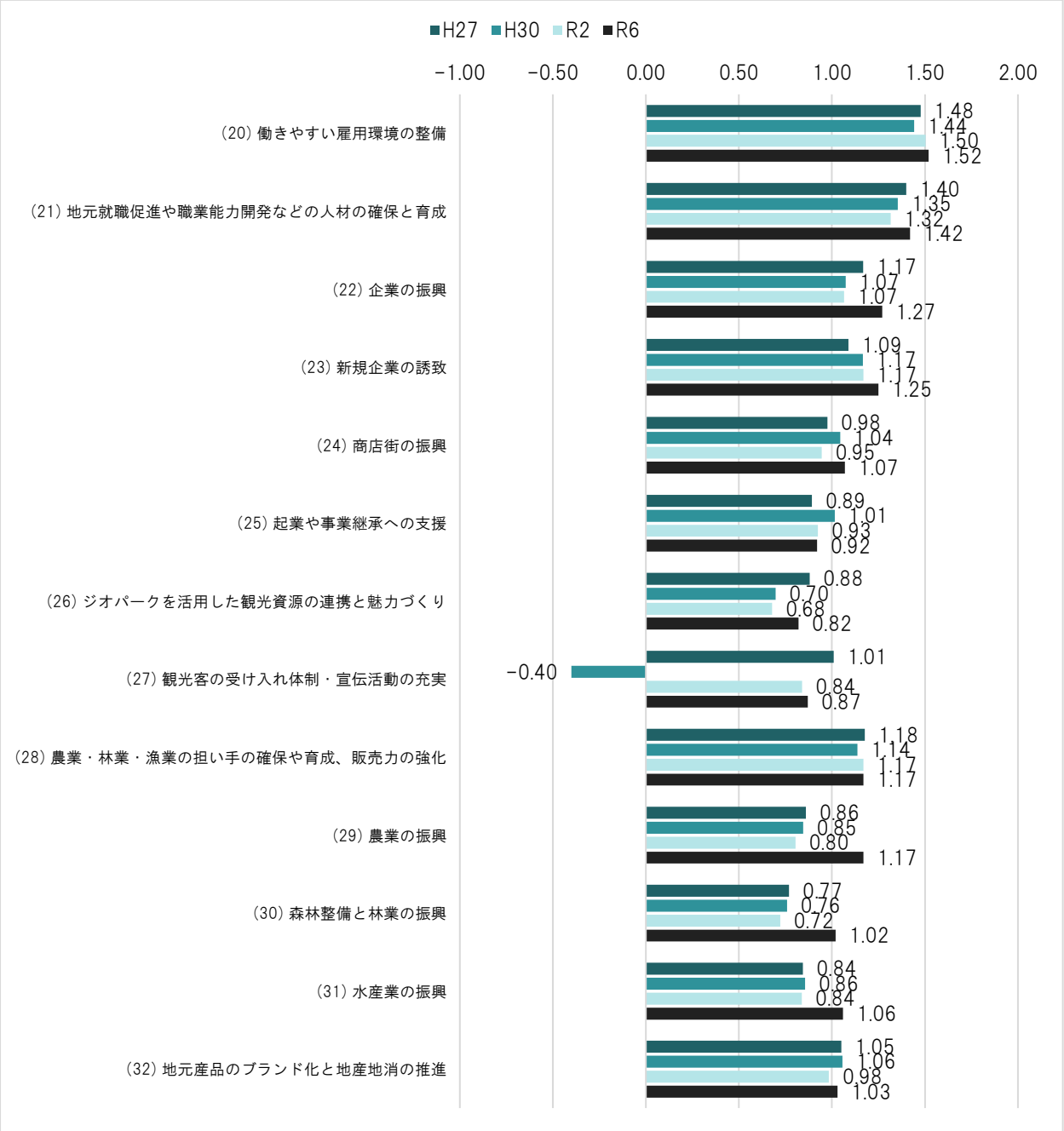
（2）過去の調査との比較＜満足度＞



- 全ての項目で満足度が低下した。
- 『(22)企業の振興』は、満足度が 0.34 ポイントと大幅に低下した。

④ 産業分野

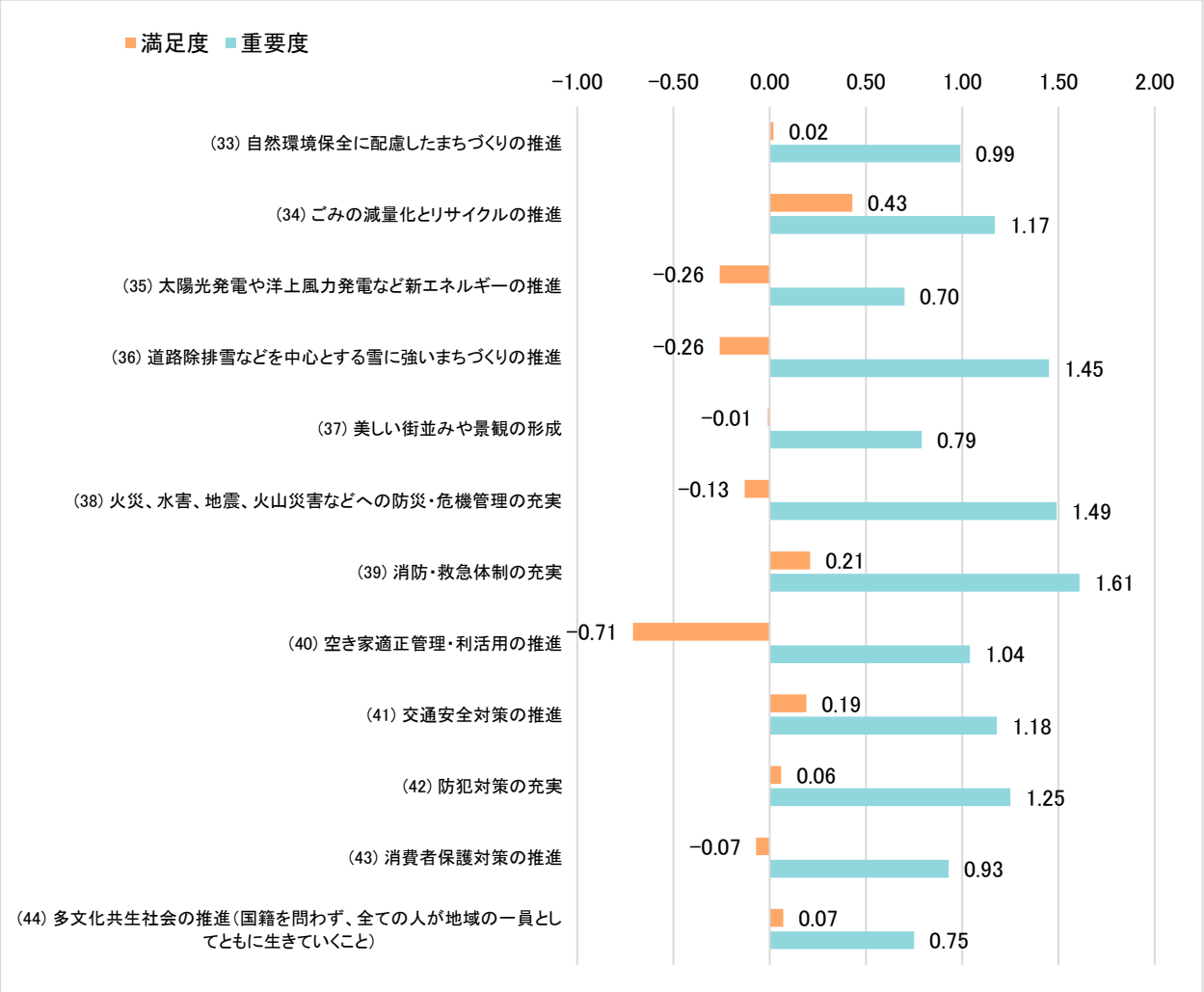
(3) 過去の調査との比較＜重要度＞



- 『(29)農業の振興』、『(30)森林整備と林業の振興』、『(31)水産業の振興』は、重要度のポイントが大きく上昇した。

⑤ 生活環境分野

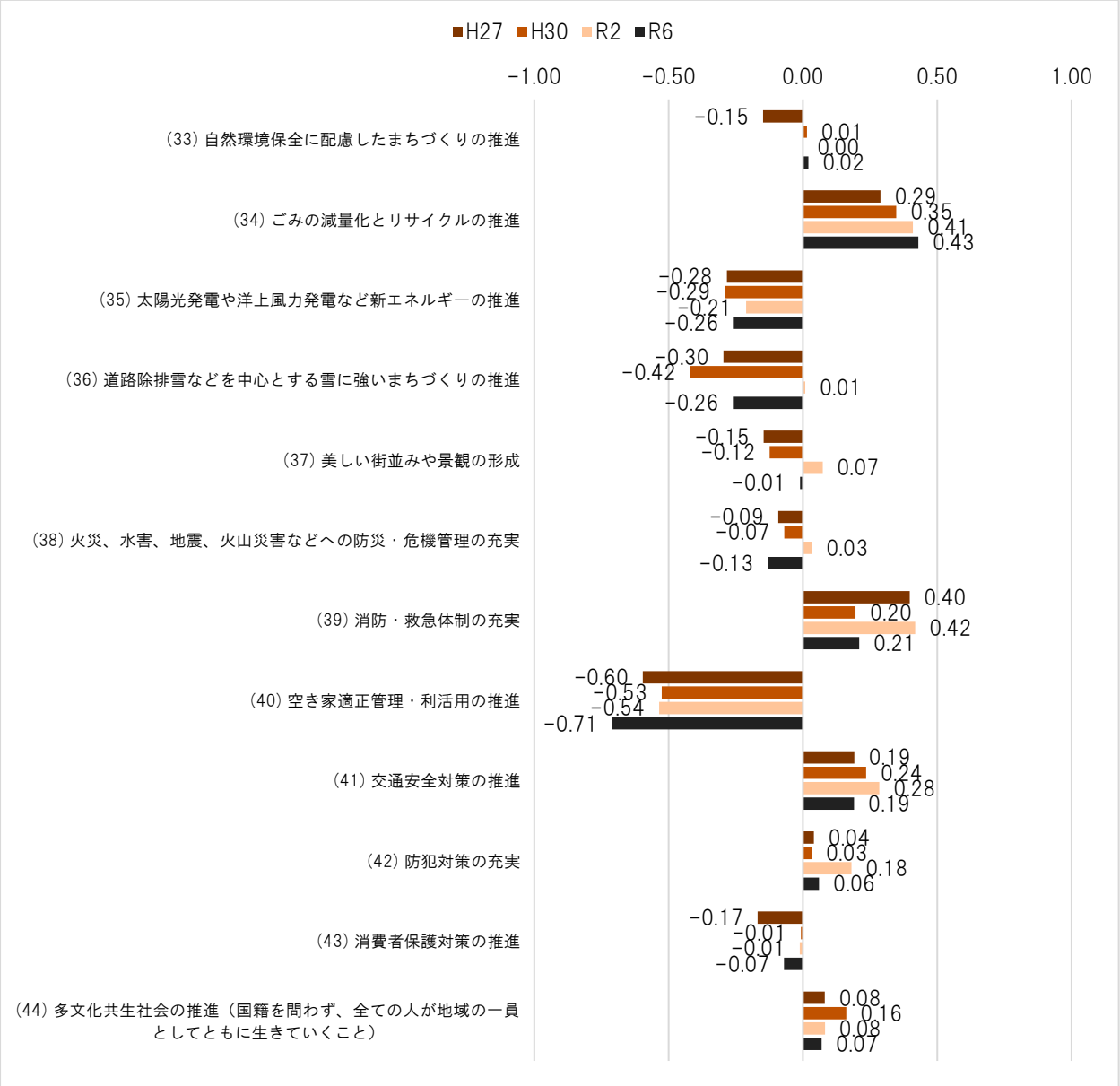
(1) 満足度・重要度



- 重要度が高かったのは、『(39)消防・救急体制の充実』、『(38)火災、水害、地震、火山災害などへの防災・危機管理の充実』などだった。
- 満足度が低く重要度が高い喫緊の課題は『(40)空き家適正管理・利活用の推進』だった。

⑤ 生活環境分野

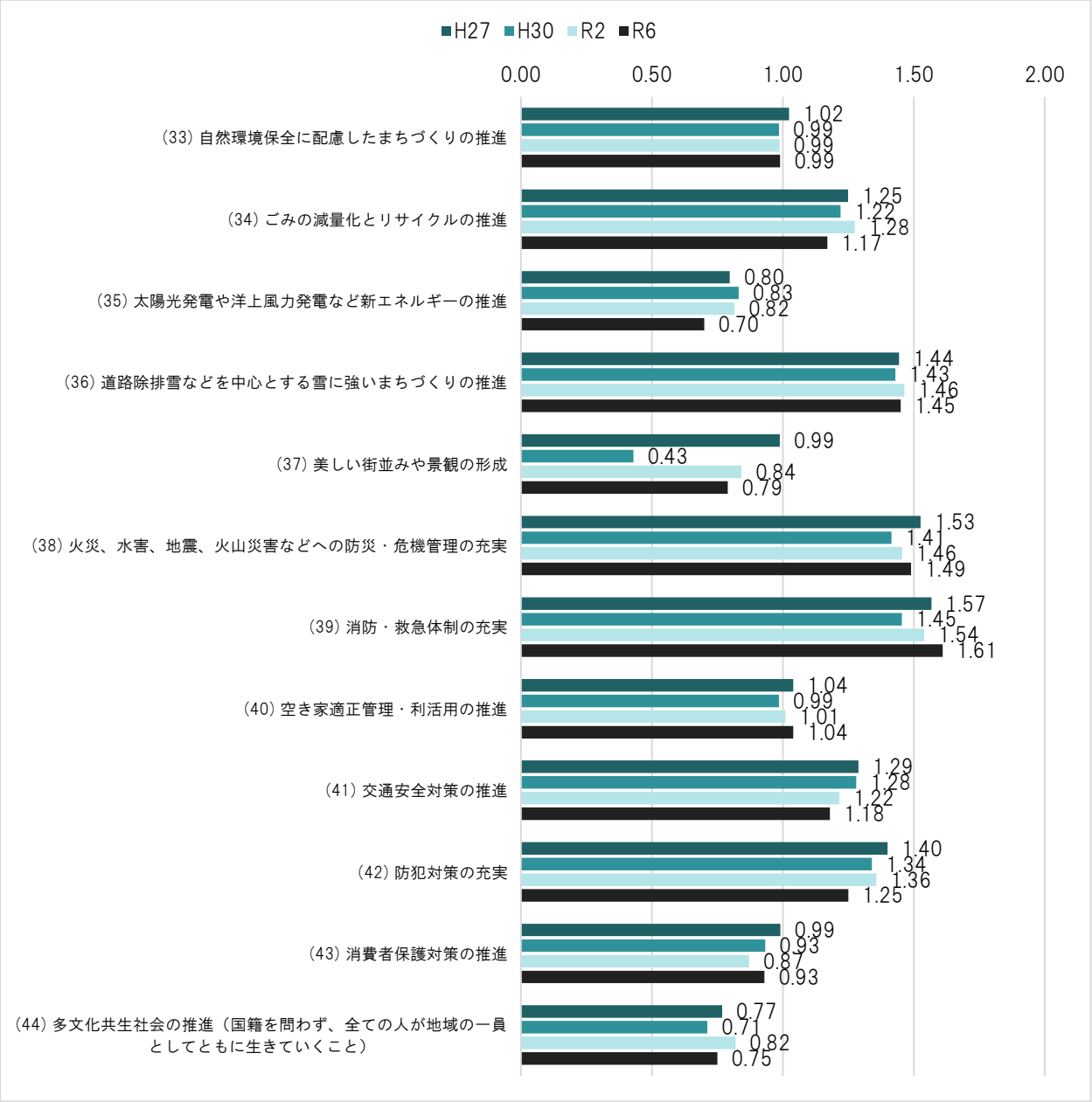
（2）過去の調査との比較＜満足度＞



- 『(36) 道路除排雪などを中心とする雪に強いまちづくりの推進』、『(39) 消防・救急体制の充実』の満足度が大幅に低下した。

⑤ 生活環境分野

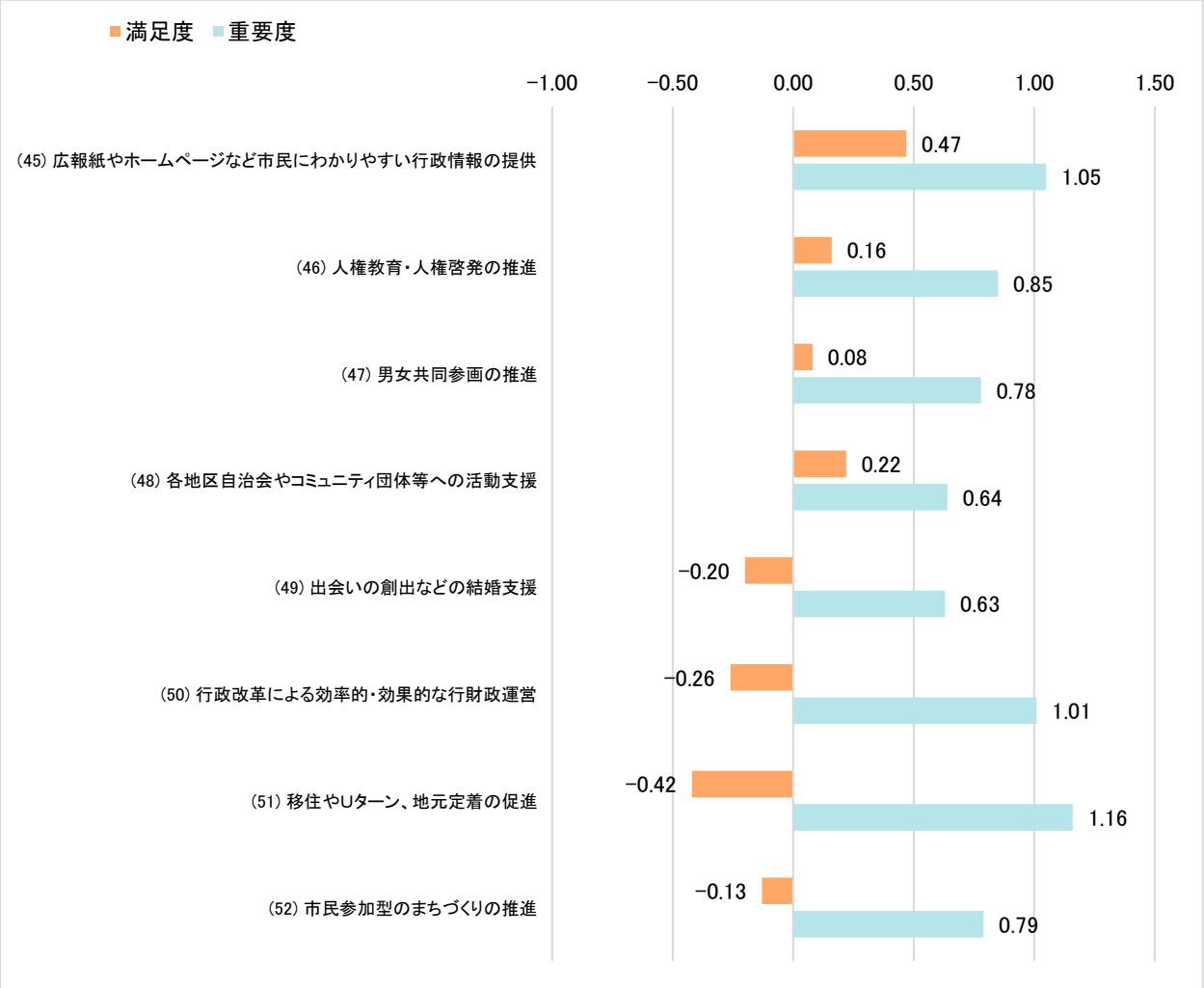
(3) 過去の調査との比較＜重要度＞



- 『(39)消防・救急体制の充実』、『(43)消費者保護対策の推進』の重要度が上昇している。

⑥ 地域づくり・自治分野

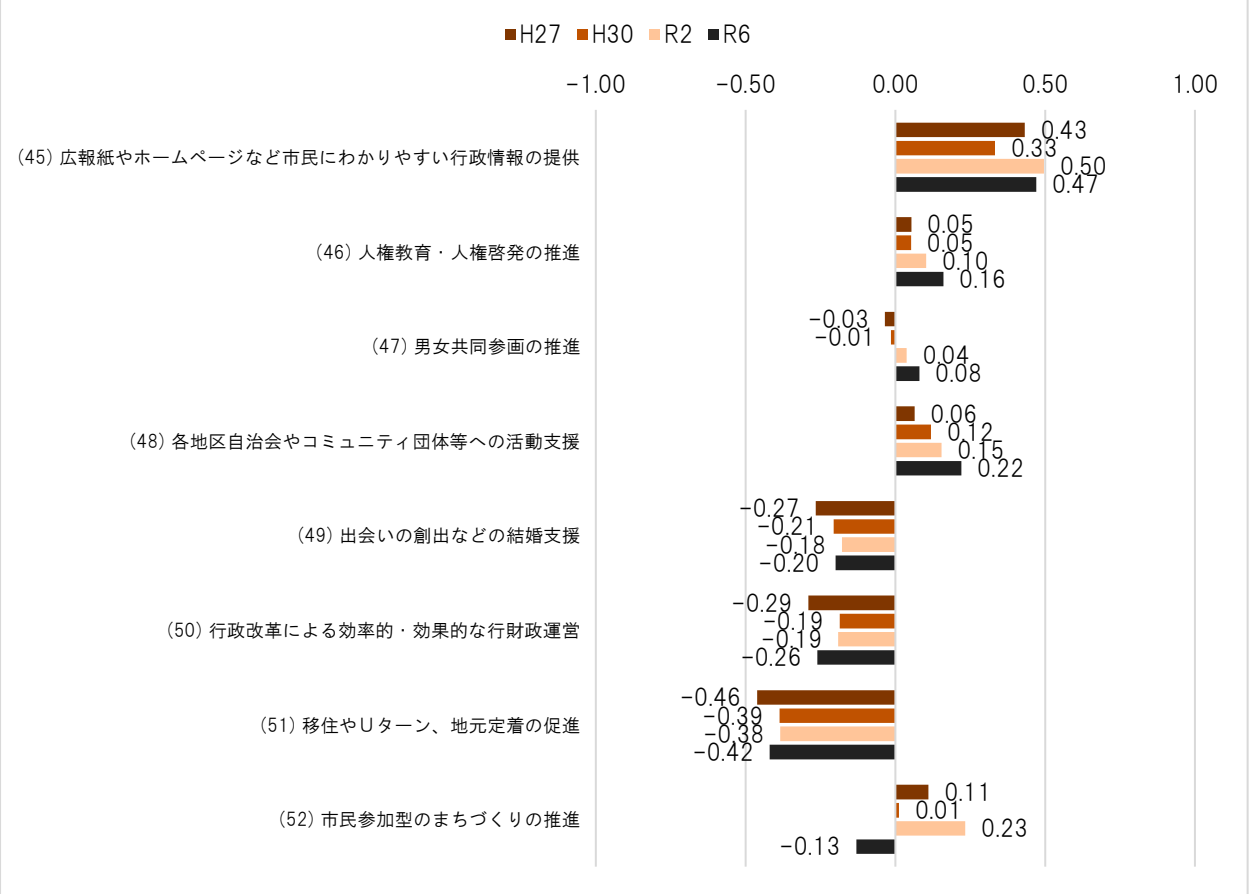
(1) 満足度・重要度



- 満足度がマイナスとなった項目は、『(49)出会いの創出などの結婚支援』、『(50)行政改革による効率的・効果的な行財政運営』、『(51)移住やUターン、地元定着の推進』、『(52)市民参加型のまちづくりの推進』だった。
- 重要度が高かったのは、『(51)移住やUターン、地元定着の促進』、『(45)広報紙やホームページなど市民にわかりやすい行政情報の提供』だった。
- 満足度が低く重要度が高い喫緊の課題は『(50)行政改革による効率的・効果的な行財政運営』、『(51)移住やUターン、地元定着の促進』だった。

⑥ 地域づくり・自治分野

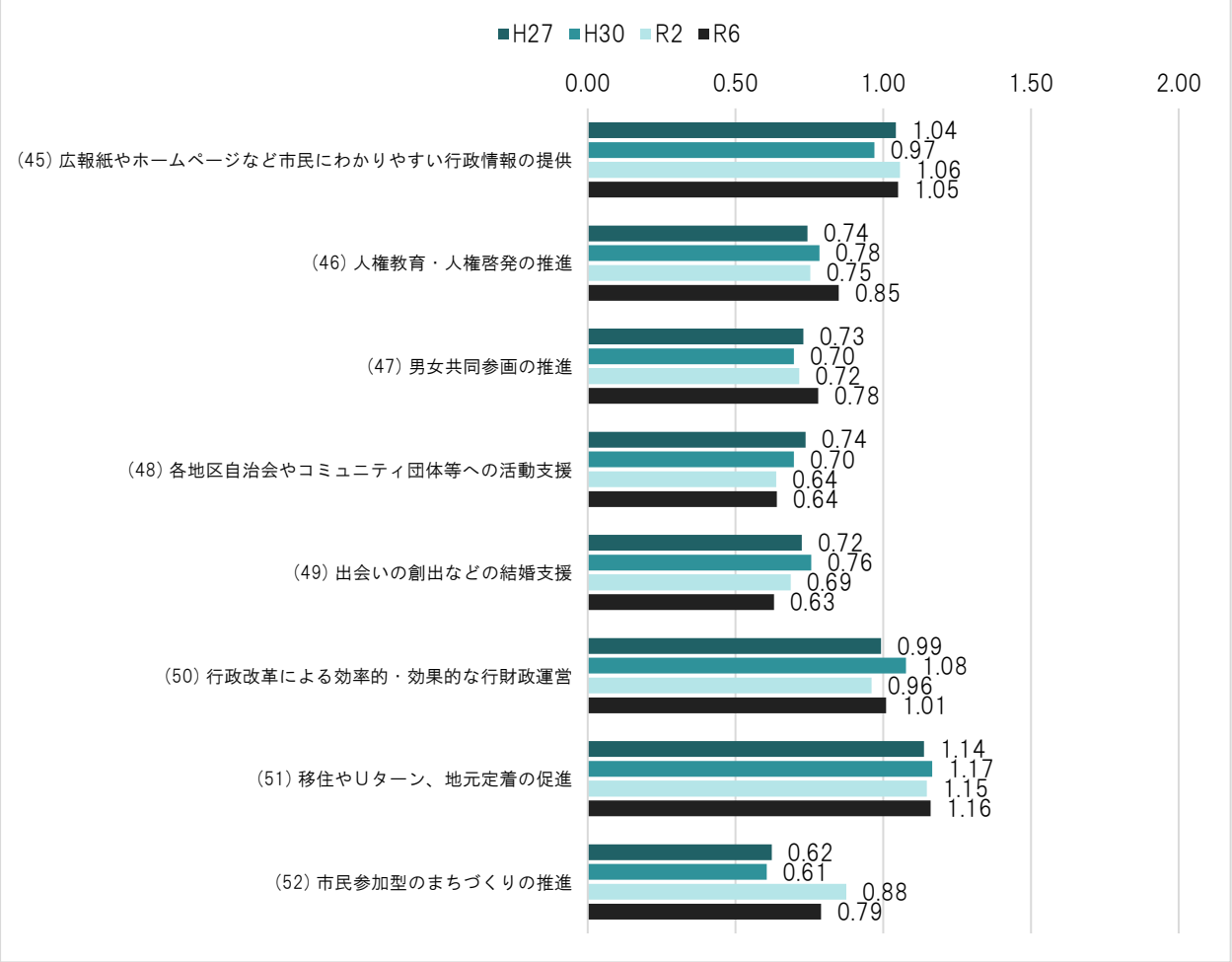
(2) 過去の調査との比較＜満足度＞



- 『(52)市民参加型のまちづくりの推進』は、満足度が大きく低下した。

⑥ 地域づくり・自治分野

(3) 過去の調査との比較＜重要度＞



- 多くの項目がほぼ横ばいだが、『(52)市民参加型のまちづくりの推進』は、大きく低下した。

6. ニーズ度による分析

重要度から満足度を引くことによってニーズ度とした。その差が大きいものほどニーズが高いと考えられる。

順位	項目	重要度	満足度	ニーズ度
1	(5) 救急医療を含めた地域医療体制の維持・充実	1.62	-0.90	2.52
2	(20) 働きやすい雇用環境の整備	1.52	-0.66	2.18
3	(21) 地元就職促進や職業能力開発などの人材の確保と育成	1.42	-0.68	2.10
4	(23) 新規企業の誘致	1.25	-0.82	2.07
5	(14) 鉄道やバスなどの利便性の向上	1.25	-0.77	2.02
6	(24) 商店街の振興	1.07	-0.88	1.95
7	(22) 企業の振興	1.27	-0.54	1.81
8	(28) 農業・林業・漁業の担い手の確保や育成、販売力の強化	1.17	-0.59	1.76
9	(40) 空き家適正管理・利活用の推進	1.04	-0.71	1.75
10	(36) 道路除排雪などを中心とする雪に強いまちづくりの推進	1.45	-0.26	1.71
11	(38) 火災、水害、地震、火山災害などへの防災・危機管理の充実	1.49	-0.13	1.62
12	(51) 移住やUターン、地元定着の促進	1.16	-0.42	1.58
13	(29) 農業の振興	1.17	-0.40	1.57
14	(1) 在宅介護支援や高齢者福祉施設の充実	1.31	-0.16	1.47
15	(27) 観光客の受け入れ体制・宣伝活動の充実	0.87	-0.56	1.43
16	(39) 消防・救急体制の充実	1.61	0.21	1.40
17	(18) 災害に強い河川整備、治山・治水対策の推進	1.54	0.18	1.36
18	(25) 起業や事業継承への支援	0.92	-0.42	1.34
19	(30) 森林整備と林業の振興	1.02	-0.32	1.34
20	(12) 国道・県道・地域高規格道路などの幹線道路の整備	1.31	0.01	1.30
21	(32) 地元産品のブランド化と地産地消の推進	1.03	-0.25	1.28
22	(13) 市道など身近な生活道路の整備	1.29	0.01	1.28
23	(50) 行政改革による効率的・効果的な行財政運営	1.01	-0.26	1.27
24	(31) 水産業の振興	1.06	-0.20	1.26
25	(16) 地区公園・緑地・子どもの遊び場の整備	0.97	-0.28	1.25
26	(6) 保育サービス、子育て環境の充実	1.26	0.02	1.24
27	(3) 障害のある人への支援の充実	1.09	-0.13	1.22
28	(7) 学校教育環境の整備、教育内容の充実	1.25	0.05	1.20
29	(42) 防犯対策の充実	1.25	0.06	1.19

順位	項目	重要度	満足度	ニーズ度
30	(26) ジオパークを活用した観光資源の連携と魅力づくり	0.82	-0.22	1.04
31	(19) きれいな海岸の保全と海辺の活用	1.17	0.13	1.04
32	(43) 消費者保護対策の推進	0.93	-0.07	1.00
33	(41) 交通安全対策の推進	1.18	0.19	0.99
34	(33) 自然環境保全に配慮したまちづくりの推進	0.99	0.02	0.97
35	(35) 太陽光発電や洋上風力発電など新エネルギーの推進	0.70	-0.26	0.96
36	(52) 市民参加型のまちづくりの推進	0.79	-0.13	0.92
37	(15) インターネットやケーブルテレビなどの情報通信基盤の整備	1.01	0.13	0.88
38	(2) 高齢者の社会参加など、いきがいづくり対策の推進	0.84	-0.03	0.87
39	(49) 出会いの創出などの結婚支援	0.63	-0.20	0.83
40	(37) 美しい街並みや景観の形成	0.79	-0.01	0.80
41	(8) 地域学習や教養を高める生涯学習の推進	0.83	0.08	0.75
42	(34) ごみの減量化とリサイクルの推進	1.17	0.43	0.74
43	(4) 健康寿命の延伸及び健康づくりの推進	0.82	0.08	0.74
44	(47) 男女共同参画の推進	0.78	0.08	0.70
45	(46) 人権教育・人権啓発の推進	0.85	0.16	0.69
46	(44) 多文化共生社会の推進（国籍を問わず、全ての人が地域の一員としてともに生きていくこと）	0.75	0.07	0.68
47	(45) 広報紙やホームページなど市民にわかりやすい行政情報の提供	1.05	0.47	0.58
48	(17) 安全で安定したガス・上下水道の供給・整備	1.50	0.94	0.56
49	(10) 文化財の保存活用と継承	0.64	0.13	0.51
50	(9) 芸術・文化活動の振興	0.54	0.06	0.48
51	(11)スポーツ、レクリエーション活動の振興	0.58	0.14	0.44
52	(48) 各地区自治会やコミュニティ団体等への活動支援	0.64	0.22	0.42
	平均値	1.07	-0.14	1.21